

委員會議錄(速記)第二回

出席委員左ノ如シ

三土忠造君

井上敬之助君

中倉万次郎君

横田孝史君

西川太治郎君

井戸文四郎君

河野 徹志君

一宮房治郎君

十五日委員則

倉万次郎君ヲ

山席國務大臣左

席安于委員上

出席政府委員左

7

方 寸

會議二上

高者者子交創

高橋三吉先生

員長三士忠

高等教育機關

等教育機關二日

又、而少子高次

而文等第二回

改善等二關

二十一名

三十九名ノ季

力、其頁二衣之

其間二休

思也

員長(三上) 從

委員長(三土忠治)

位ヲ證明セラル

第五類第十九號

三、

三

考ヲ立テ、調査致シテ見マシタガ、ドウモ此入學志望者及ビ入學者ノ實況ヨリ見マスルト、何分ニモマダ我國デハ富ノ程度が高クアリマセヌカラ、私立ノ學校ガ餘計出來マセヌノデ、急速ニ此缺點ヲ補フニハ、各種ノ專門學校ヲ當局デ拵ヘルノガ一番宜カラウト云フ考カラ、此計畫ヲ立テタルデアリマス、其立テマシタル基礎ハ、大正六年ノ五万六千人ノ受験者ト云フモノハ、是ハ數年ノ間入學出來ナクシタ停滯者デアリマスカラ、之ヲ基準ト致シマセズニ、大正六年ノ中學ノ卒業生ガ全體デ二万千餘人ト云フコトニナリマス、ソレヨリ推シテ往キマスルト、七年先キナリマスルト是ガ一寸三萬位ニナル推算デアリマス、其三萬ノ中三分ノ二即チ二萬人ヲ收容スレバ、先ヅ一通リ捌ケハシナイカト云フ所カラ計算ヲ立テタルデアリマス、ソレデ此度ノ計畫ニハ、參考資料デ御覽下サイマス通リニ、各受験者ノ希望ニ割當テ、高等學校ヲ十校及ビ他ノ各種ノ實業專門學校ヲ十九校、合セテ二十九校ヲ以テ生徒ヲ收容スル計畫ニシシマシタ、此學校ノ收容力ノ關係ヲ申シマスルト、先程申シシタ通り、今日實際開校シテ居リマス既設ノ學校ガ二十九程アリマス、其上ニ昨年ノ議會ニ於テ御議決ニナリマシタ學校ガ十校、本年ノ總豫算ニアリマスモノガ四校、其他既設ノ學校ヲ擴張シマシタモノヲ基準ト致シマシテ、ソレニ今回ノ二十九校ヲ加ヘテ、全體デ七十二校ニナル、此七十二校デ一万三四千ノモノヲ收容スル計畫デアリマス、私立ノ學校ニ今日收容シテ居リマス七千人ノ者ハ、當分大差ガナク進行スルト云フ基準デ、七千人ノ据置イテ居リマス、一體斯ノ如ク學校ガ不足シタ所以ハ、國ノ富ノ程度ガ低イカラ私立學校ガ餘計ニ出來ナイ、又官立ニ於テ久シク學校ヲ増設ヲ計畫シナクッタコトモ大ナル原因デアリマス、例ヘバ高等學校ノ設立ハ、初メハ明治十九年ニ三校設立ニナリ、二十年ニ四校設立ニナリ、合セテ七校デ三十三年迄來タルデアリマス、明治三十三年ニ第六高等學校ヲ増設シ、ソレカラ一校ヲ設立シ、後チ久シク止ンデ居リマシテ、四十一年ニ第八高等學校ヲ新設シマシタ、殆下明治十九年、二十年ヨリ大正七年、八年ニ至ル三十年間ニ、二校シカ増設シナクッタノデアリマス、ソレカラ各種ノ實業專門學校ハボツボツ出來テ居リマス、初メニ高等商業學校ガ出來テ、二十年ニ東京美術學校、東京音樂學校ガ出來、二十三年ニ高等工業學校、ソレカラ久シク止ンデ二十九年ニ大阪高等工業學校、東京蠶絲學校ガ出來マシタ、其翌年カラ一校位

ジ、ボツ」出來テ居リマスガ、明治四十年カラ大正四年マデ一校モ出來ナイ大正四年ニ桐生染織學校ヲ作りマシタ此參考資料ニ學ビテ居リマス通り、今日ノ實況ヲ申シマスルト高等學校ヲ志望シタ一万一千人中、入學者ハ百分ノ十二デアリマス、高等商業學校ハ商工業勃興ノ際デアッタカラデモアリマセウガ、大正六年度ニハ百分ノ十八シカハッテ居ナイ高等工業ハ百分ノ二十トナッテ居リマス、故ニ此缺點ヲ補ヒタイト云フノガ大體ノ計畫デアリマス、ソレデ此法律案ハ之ニ對シテ要スル金四千四百五十萬圓ノ中、一千万圓ノ御下賜金ガアリマスカラ、残り三千四百五十萬圓ヲ借入金、又ハ公債募集デ財源トシタイト云フノガ大體ノ趣意デアリマス

○樋口秀雄君 御尋ノ件數ガ多イデスカラ、逐條ノ御尋致シマス、今回政府デ高等教育機關ヲ増設セラル、コトハ、私共双手ヲ舉ゲテ賛成致シ國民ノ爲メニ慶賀ニ堪ヘナイコトデスカラ此擴張案ノ如ク專門學校以上ヲ擴張シ或モノヲ、大學ニ昇格セシムルコトハ、生徒ノ收容數ノ必要ニ應ズル設備デアッテ形式ノ問題デアラ、併シ機關ガ如何ニ増加スルモ内容ノ改善及基礎教育ガ、充實シナケレバ教育ノ振興ニナラナイト思ヒマス、今回提案ノ二問題ハ、教育機關ノ増設及基礎教育タル中小學教師ノ優遇方、教課目其他内容ノ改善ニ涉ッテ居リマセウガ、是モ多分御考慮中デ最近ニ御發表ニナルト思ヒマスガ、其方ノ御金ガアリマスカドウカト云フコトヲ伺ヒマス

○國務大臣(中橋德五郎君) ソレハ斯ウ云フコトニナッテ居リマス、教育會議ニ於テ御審議ニナリマシテ、各種ノ答案ガ出テ居リマス、其ノ中ニ今御話ノ點ガ委シク出テ居リマス、所ガ學令ガ四月一日ニ實行ノ豫定デアリマスカラ、ソレ迄ニ出來ルモノハ成ベク準備ヲシテ、ソレ迄ニ出來ナイモノハ其先キニ往ッテ、徐々ニ著々準備ヲ致シテ居リ次第デ、小學中學ニ對スル學課ノ整理及各種科目ノ統一ニ付テ整理シテ居リマス、或物ハ授業時間ノ數ヲ増シ、或物ハ減ズル、又各地ノ狀況ニ付テ科目ノ按配ヲスルノデ、ソレハ今日ノ劃一ノ弊ヲ矯メル爲メニ必要デアリマス、尙ホ時間ヲ多少減ジタイト思ッテヤッテ居リマス、本年總豫算ニモ提出シテ置キマシタガ、教育諮詢會ヲ作ル見込デアリマス、臨時教育會議ハ議會ニ於テ既ニ條件モアルヤウナ譯、又各種ノ事項モ略々審査ヲ終リマシタカラ、本年度内ニ閉鎖ノ見込デアリマス、本年ノ豫算ガ通過スレバ、教育諮詢委員會ヲ作りマシテ、臨時教育會議ノ答案並ニ當局ガ諮問シタイト思フモノハ、此諮詢機關ニ掛ケル順次ニ考ヘテ居リマスケレドモ、何分四月一日カラ學令ヲ實行スルコトニナッテ居リマスカラ、急グモノハ委員會ニ相談スル時間ハアリマセウ、唯今

續リニ調査ヲ進行シテ居リマス、省令施行細則內規告示等ノ如キモノモボツ」出シテモアリマシ、又進行中ノモノモアリマス、實際是ハ今御話ノアリマシタ如ク、他ノ方ミカラモ先達テカラ段々御心配ガアリマシタガ、當局モ其點ニ付テハ餘程心配シテ居ルノデアリマス

○樋口秀雄君 其點ニ關スル尙ホ御考慮ガ有ルナラバ甚ダ結構ト存ジマスガ、今ノ高等教育機關擴張ノ問題ヨリハ、順序ト致シマシテ基礎教育ニ關スル事カラ順ニ御尋フ致シタイト思ヒマス、其事ハ主トシテ內務省所管デハアリマセウガ、一應御尋致シマス、即チ別ノ法律案、即チ地方税附加税ノ税制擴張ニ關スル法律案ト云フモノガ出テ居リマスガ、此擴張ノ目的ハ何處ニアルカト申シマス、先頃之ニ關シテ一寸質問モ致シマシタガ、明確ナ御答ガアリマセウノデシタケレドモ、新聞其他ノ傳フル所デハ、此附加税ノ制限ヲ擴張シテ、之ニ依ッテ得タル四千万圓ヲ以テ、其内一千四百万圓位ハ、中小學ノ教員ノ優遇費ニ充テラレルト云フコトデアリマス、中小學ノ教員ノ優遇費ニ充テラレルト云フコト長トシテ一千万圓ノ國庫負擔法ヲ決議致シマシタ時カラ、全院一致ノ希望デアアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、其優遇ハ結構デアリマスガ、昨年此案ノ出タトキニハ、地方費ノ教育ニ對スル負擔ガ重キニ過グルニ依テ、此負擔ヲ輕減スルト云フコトヲ一大眼目トシテ、一千万圓ノ國庫負擔法ト云フモノガ成立シタノデアアル、然ルニ越テ一年、最早平和風ガ吹キ初メテ、財界ノ狀況ガ昨年ノ今頃ニ較ベマスト悲觀ニ傾イテ居ル當時ニ於テ、地方税ノ國稅附加額ノ制限ヲ擴張シテ、少クとも其一部ヲ——大部分ヲ教育ノ爲メニ使フト致シマス、昨年全院一致ヲ以テ可決シタ國庫負擔法ノ精神ト背馳スルカト思フ、殊ニ現書記官長ノ高橋君ノ如キハ、吾々ハ教員ノ優遇ト云フ方ニ其内ノ六分通リヲ使ヒ、地方費ノ負擔輕減ト云フモノニ四分位ヲ充テ、貴ヒタイト云フ希望ヲ申上ゲタ時ニ、當時ノ內務ノ當局ニ喰ッテ掛カラレテ、ソレデハ吾々ノ趣意ガ立たヌ、大部分ハ地方ノ負擔輕減ト云フモノニシテ貴ハナケレバ趣意ガ立たヌト云フテ咆哮サレタコトハ、今尙ホ諸君ノ御記憶ニアルコト、思フ、然ルニ其政友會內閣ノ御案トシテ、稅制ニ關スル制限ヲ擴張スル案ガ出テ、地方費ノ負擔ヲ増スコトニナルト信ジテ居リマスガ、昨今ト今年トノ財界ノ狀況、地方農村ノ經濟狀態ハ裕福ニナッテ、此狀態ガ尙ホ數年續クト云フ御見込ガ立ッテ爲メニ此案ガ出タデアアルカ、若シ其御見込ガ確立シテ居ルト云フナラバ結構デアリマスガ、假ニサウ致シマシテモ、地方ニ一任シテ、中小學ノ教員ノ優遇費ニ充テラレルト云フ場合ニ、果シテ其實行ガ可能デアルヤ否ヤ、昨年今

ノ文部大臣ガ委員長トシテ居ラレタトキノ質問應答ノ中ニモ明記サレテアリマス通り、小學教員ノ俸給ニ付テハ、文部省カラ出タ小學教員俸給表ト云フモノガ定マッテ居リマスガ、地方ニ依リマストソレヲ實行セズシテ、村ノ狀況ガ斯ウデアアル、町ノ狀況ガ斯ウデアアル、デアルカラ六級俸ナラ六級俸ヲ給スルモノナラ、其中五圓ヲ寄附シテ貰ヒタイ、三圓寄附シテ貰ヒタイト云フヤウナコトヲ要求シテ、ソレヲサレズンバ首ニナルト云フ虞ガアルカラ、薄給ヲ忍ビツ、其町村ノ爲メニ寄附シテ居リタ教員ガ、少クナイト云フヤウナ弊ガアッタコトハ御承知デアリマセウ、サウ云フ弊ガ再ビ起ラヌト云フ御確信ガアルカドウカ、假ニ起リタスレバ、此法律ノ精神ガ没却サレルコトニナルデアラウガ、ソレガ起リタ場合ニハ如何ナル方法ヲ執ッテ、其目的ヲ達スルコトヲ云フ途ヲ講ズル御成案ガアルカドウカ、是ガ第二デス、第三ニハ地方費ノ負擔輕減ヲ、兎ニ角一般委員ノ目的トシテ昨年實行サレマシタ一千万圓ノ國庫ノ負擔法ノ結果ハドウナッテ居ルカ、各府縣ニ於テ屢、此問題ガアリマスガ、就中甚シイハ岐阜縣ノ問題デアリマス、昨年ノ岐阜縣ノ縣會ニ於テモ問題トナッテ、縣會議員ト知事並ニ學務課長ノ衝突ヲ來サン許リノ問題ニナッテ居ル、ドウ云フ問題カト云フコトハ御承知デアリマセウガ、昨年ノ俸給令ノ改正ニ依ッテ——ソレハ六級俸カト思ヒマスガ、今給料ノ等級ハ記憶シテ居リマセウガ、三十圓以上デシタカ三十五圓以上ノ教員ガ、一躍シテ同級ニ於テ十圓昇ッテ居ル、即チ三割以上ノ昇ッテ居ル、然ルニ此一千万圓ト云フモノヲ院議ニ依ッテ各派ノ御希望等ヲ容レマシテ分配サレタ結果、二割三分位ノ増俸ニナル筈デアアル、然ルニ前ノ五級俸デアッタモノト、今度ノ五級俸ニ昇ガッタモノトハ、同ジ五級俸デアアルケレドモ非常ナ相違ガアル、六級俸ニ於テモ三級俸ニ於テモ相違ガアル、其相違ガアル爲メニ此訓令ニナツタモノヲ、最後ニ特別ノ辭令ヲ用ヒザル限リハ、元ノ等級デ置クト云フヤウナ意味ノ條件ガ附イテ居ル、ソレヲ縣知事ノ如キハ誤解シタノカ、改正令ノ俸給表ニ依ッテ、依然トシテ何等ノ辭令ヲ出サナカッタ爲メニ三割以上ニナッテ居ル、其所以政府ノ配當額ガ二割三分位シカナイカラ、不足スルノハ勿論デアリマス、此關係ガ正教員ト准教員トノ比較數ノ差ノ多イ——言換ヘレバ准教員ノ數ノ多イ方程尙ホ甚ダシイ負擔ニナル、ソレハ岐阜縣ニ於テハ殆ド町村全部ニ涉ッテ地方費統一ニ對スル負擔ヲ増加シテ居ル、斯ノ如キハ國庫負擔法ノ精神ニモ背キ、尙更縣會ノ問題ニナツタデアリマスカラ、御如才ナキ當局ハ既ニ御調査ニナッテ、其處分ヲ御執リナサレタカト思ヒマスガ、未ダニ關リ聞カヌデアリマス、此等ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(中橋德五郎君) 附加税ノ制限ヲ擴張スル

ト云フ案ノ方ハ、内務當局ガ出ラレテカラ一緒ニ質問ヲ受
ケタ方ガ、昨年ノヤウナ頓陳漢ガ起ラヌデ宜イト思ヒマス
ガ……

○樋口秀雄君 ソレデハ第一ハ除キマシテ第二第三ヲ伺
ヒマス

○國務大臣(中橋德五郎君) ソレハ申上ゲマセウ、政府
委員カラ申上ゲマス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 唯今ノ第二ノ御尋ヲ一寸
聽漏シマシタガ、岐阜縣ノ問題ノヤウニ承リマシタガ……

○樋口秀雄君 第二ニ學ダマシタノハ、傳フル所ニ依レハ
一千四百萬圓ヲ小中學ノ教員ノ優遇費ニ充テル目的デ
擴張サレタト云フ風ニ聞イテ居ル、果シテサウデアラカ、サウ
スレバ其中小學ノ教員ノ優遇ト云フコトハ甚タ結構デア
ルガ、之ヲ地方ニ一任シタト云フ從前ノヤウナ弊害ガ、實
行不可能ニ了リハシナイカト云フコトデス

○國務大臣(中橋德五郎君) 其點ナラ大體申上ゲマス、
本年度ニ向テ計畫ヲシマシタノハ、無論教育ノ内容等、經
費ノ掛ラヌコトハ先程申上ゲマシタ通り著々進行シ、今後
モヤリ積リテ居リマス、金ノ掛ルコトハ何分ニモ國庫ニモサ
ウ餘格ガアル譯デアリマセヌカラ、出來ルダケ年ヲ追ウテヤ
テ見ルト云フ計畫ヲ立デマシテ、本年度ニヤリマスノハ主
タル目的ハ教員ノ優遇ヲスル、之ヲ大學ヨリ小學マデ及ボシ
タイ、是ガ一ツノ本年ノ豫算編制ノ主義ニナッテ居リマス、
一ツハ一番缺陷ノ多イ高等小學校ヲ増設スル、斯ウ云フコ
トヲヤリマス、其優遇ノ方ハ總テ國庫デ行ケレバ之ニ越シタ
コトハナイガ、之ニ付テハ私モ著シテカラ色々疑問ヲ持
テ居リマス、本年ハ免モ角モ何レモ財源ノ融通ヲ考ヘ、各種ノ
機關ヨリ財源ヲ集メテ、サウシテ差當リノ優遇問題ヲ解決
シタイト云フノデ此案ヲ立テテデアリマス、ソレニ付テハ總
豫算ニテ國庫ノ方デハ、一般ノ官吏ニ向テノ優遇、此中
ニハ教員モ無論入テ居リマス、唯今モ多少ノ手當ヲ出シテ
居ルガ、之ヲ平均五割近イモノニ増額スル案ヲ立テテノデ
アリマス、故ニ一般ノ官吏ハ四割、五割ト云フ臨時手當ト
云フモノヲ貰テ居ル、何故臨時トシテ増俸トシナカシカ
ト申セバ、時局ノ際デアリマスカラ、如何ニ物價ガ變動スルカ、
財界ノ富ノ分配ナドノ變動ガ豫測ガ出來ヌカラ、差當リ是
デ行カウト云フノデ先ヅ一年間試ミテ、後トハ大正九年度
ニ實況ヲ考ヘテヤラウト云フコトデ、是ハ臨時ノ計畫ニナ
テ居リマス、ソコデ教員ノ方モ矢張其方法デ、給料ノ増シタ程
度ヲ四割五割、下ノ方ハ總テ五割デ……

○樋口秀雄君 總額ハドノ位デスカ

○國務大臣(中橋德五郎君) 總額ハ文部省ノ學校ノ關
係トシテハ被此百二十萬圓ニナリマス、尙ホ委シイ數ガ

御入用ナラバ後トデ差上ゲマス、所ガ各學校ニ對シテハ臨
時手當ト云フモノヲ四割乃至五割ヲ支出スルト云フ計畫
ヲシタ譯デアリマセヌ、其基礎タル俸給ノ現在ノ額ガ低イカ
ラ、之ヲ上ス計畫ヲ立デマシテ、大體平均ガ二割計リノ増
額ニナリマス、是ガ五十萬圓計リニナリマス、總豫算ノ普通
ノ本俸ノ増額デ優遇スル方ノ増額シタモノガ、此四割五割
デアリマス、扱ソレカラ中等學校及初等學校ノ教官總體ノ
方ハ、唯今御話ノアリマシタ計畫ニ移テ譯デアリマス、是ハ
獨リ國庫ダケデナイ、府縣モ町村モ皆ナ舉ゲテ教官ト云フ
モノ、待遇ヲ厚クスルト云フコトノ計畫ヲ八年度デ立デマ
シタ、ソコデ附加稅ノ制限擴張ト云フ案ヲ立テテ譯デア
リマス、是ハ獨リ教育ニ當リマス職員ダケノモノデアリマセヌ
デ、府縣ニハ澤山アリマスカラ、府縣全體ニ又町村支辨ノ
全體ニ向テ、出來ルナラバ或ル程度マデノ待遇ヲシタイト、
斯ウ云フ事カラシテ、今日提案ヲ致シタ譯デアリマス、ソレデ
是ハ今府縣デヤテ居リマスノハ、内務ノ當局ガ出席サレテ
カラ説明モアラウト思ヒマスガ、大體ハ府縣稅ニ於テ最高
限ノ擴張ヲシテ、其最高限ノ擴張ノ範圍ヲ二千二百萬圓、
ソコマデハ行クト云フ考デアリマス、ソレカラ租稅ノ方デハ二
千九百萬圓、一寸二千萬圓マデガ最高限デ行ケルト云フ
コトニナッテ居リマス、其中デ教育ノ關係ニ於テハ、大體ハ最
高限ノ中等教員ニ對シテハ概算ガ三百萬圓、ソレカラ初等
教員ニ對シテ、即チ町村ニ於テハ概算ガ千五百萬圓、ソレマデ
行ケルト云フコトノ考ヲ以テ計畫ヲ立デマシタ、併ナガラ此
度ノ計畫ハ劃一ニ之ヲ造ラウト云フマデノ考ハ私ハ持
テ居リマセヌ、町村ノ實況、各地ノ狀況ニ據リマシテ、向フニ
取捨ヲシテ貴タ方ガ宜カラウト思フ、此方ハ出來ルダケノ
コトヲシテ、其取捨ハ向フニ於テスルト云フ考デアリマス
カラ、全部全國劃一ニスルト云フコトハ出來ナイ、一千萬圓ヲ
配付シテ其上ハ自分ノ金デ以テスル、不統一デ宜カラウト
思ヒマス、町村ハソレノ事情ヲ異ニシテ居リマスカラ、餘リ
劃一ニスルト云フコトハ、却テ宜シクナイト云フ考ヲ持テ居
リマス、取捨ハ地方ニ命シテ大體ハ教官ト云フモノ、待遇
ヲ、機會ノアル毎ニ之ヲヤテ行クト云フ事ニ致シタイ、幸ニ
昨年ノ十二月——一昨年ハ僅デアリマシタガ、十二月ニ各
縣——道府縣會ニ於テ増俸サレタ處モアリマスシ、又手當
ヲ支出サレタ處モアリマス、其事ハ樋口サンモ御承知デア
リマセウガ、ソレハ二割餘ニナッテ居リマス、此故ニ此案ガ出來
マシタナラバ、今二割計リノ増額スレバ、一般ニ同ジヤウニ四
五割ノモノヲ貰フ、斯ウ云フコトニマデ行テ、行ク——ハ是デ
全國劃一ニナルカ知ラスガ、今ノ所ハ地方ノ狀況ニ依
テ違タ豫算デアリマス、大體ハサウ云フヤウナ狀況デヅリマ
ス、ソレカラ尙ホ昨年ノ實況ハ今政府委員カラシテ申上ゲ

マスガ、漸クマダ一年デアリマスカラシテ、今後ドウ云フ結果
ニナリマスカ知レマセヌガ、大體ハサウ云フコトニナッテ居リマ
ス

○樋口秀雄君 今ノ小學教員ノ俸給ノ實行ノ狀況ハド
ウデスカ

○國務大臣(中橋德五郎君) 是モドウモ現在ノ狀況ヲ
見マシルト全國ノ澤山ノ町村ノ中ニハ、無理ナ所モ出來ル
ト思ヒマス、併シ大體ニハ今日ドウシテモ教員ノ優遇シナケ
レバナラヌト云フコトヲ痛切ニ感ジテ居リマスシ、又其町村
ノ財力ニ於テモ現在ハ制限ガ付ケテアリマスカラ、一方デハ
行ケル力ガアツテモ、他ノ方デハ色々稅目ヲ拵ヘテソレニ課ス
ルト云フコトモシテ居リマスカラ、此制限ヲ取テ行キマスレ
バ、比較的上ノ人カラ徵收ヲ受ケテ、戶數割ナドノヤウナ細
カイ稅ニ行クトハナイト云フ考ヲ持テ居リマス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 唯今御尋ノ岐阜縣ノ問題
ノ方カラ御答申上ゲマス、吾ニニ於キマシテハ唯今御話ノ
ヤウナ事情ハ、マダマルデ承知シテ居リマセヌ、實際御承知ノ
通り昨年義務教育費國庫負擔法ノ制定ニナリマシタノハ、
三月ノ殆ド末ニナリ掛ッテ居ルデアリマス、同時ニ四月一
日カラ實行ヲ致スト云フヤウナ法律案デゴザイマスカラ、其實
施ニ付キマシテハ出來得ルダケ、豫メ前ニ準備ノ出來マセ
ノハ出來マセヌヤウニ吾ニノ方ガ注意ヲ致シマシタ、知事ナド
ニモ多少形勢ノ分リマシタコトデ、其模様ヲ知ラシテ豫メ準
備ヲシテ置キヤウニト云フ、吾ニノ方カラ注意致シテ置キマ
シタ、ソレデ確カ昨年ノ實行期ハ四月一日デアリマシタガ、
三月ノ十九日頃デアツカト思ヒマス、凡ソ斯ウ云フ風ニヤル
ノデアルカラシテ、斯ウ云フ方針デ豫メ處置ヲシテ貴ヒタイ
ト云フヤウナコトハ、特ニ此各府縣ニ注意ヲ致シテ置キマシ
タノデゴザイマス、ソレデ今吾ニノ方ニ參テ居リマス所ノ報
告ノ結果ヲ見テ見マシルト、岐阜縣ハ特ニ此方カラ配當ヲ
致シマシタ金ニ對シマシテ、教員ノ増俸ヲ特ニ超過シテ居ル
ト云フ事實ヲ認メマセヌデアリマス、ソレデ御承知ノ通り
私ノ方ノ報告ハ縣全體ノ報告デアリマスカラ、或ハ一ツノ
町村トカ云フヤウナ處ニハ、特ニ幾ラカ増シタト云フヤウナ
事情ガアルカモ知レヌケレドモ、兎ニ角縣全體ト致シマシテ
ハ、サウ其エライ違ヒガアツタヤウニモ縣全體ノ上ニハ思ハ
マセヌデアリマス、是ガ岐阜縣ノ問題ニ對スル御答デアリマ
ス、ソレカラ尙ホ唯今大臣カラ、義務教育ノ國庫負擔ノ實
施ノ狀況ヲ申上ゲルヤウニト云フコトデゴザイマス、此點ニ
付テハ御承知ノ通り、此國庫カラ致シマシテ配當致シマ
シタ所ノ金額ハ、昨年ハ一千萬圓、其内ノ百萬圓ハ資力薄
弱ナル町村ニ交付スルト云フコトニ致シマシテ、残りノ九萬
圓ト云フモノヲ、是其半數ハ尋常小學校ノ正教員及准

第五類第十九號 時局ノ影響ニ因ル地方稅制限擴張ニ關スル法律案委員會議錄 第二回 大正八年二月十九日

五

教員ノ數ニ應ジマシテ配當ヲ致シマシタ、殘リノ四百五十萬、半分ノ四百五十萬ハ此町村ノ就學兒童數ニ比例致シマシテ、サウシテ各町村ニ配當ニナリマシタ、其結果ト致シマシテ教員一人當リニ配當致シマシタ金額ハ、三十三圓九十三錢ナリシト云フ金ニナッテ居リマス、ソレカラシテ兒童一人當テ金額ハ六十二錢七毛ト云フ割合ニナッテ居リマス、ソレガ配當ノ極大體ノ標準ニナリマシタノデゴザイマス、ソレヲ配當致シマシテ實施致シマシタ結果ハ、教員ニド云フ風ニ増俸ニナツカト申シマスル上云フト、極ク一口ニ申シマスル上云フト、約八百五十萬程ガ教員ニ増俸ニナリマシタ譯デ、ソレデ其増俸人員ハ本科正教員、專科正教員、ソレカラ准教員、併セテ十四萬四千四百十五人増俸ヲ受ケタ譯デアリマス、デ増俸ヲ受ケマセヌ者ガ八百七十一人アリマス、ソレカラ其増俸ノ歩合ヲ申上デマスル上云フト、是其本科正教員、專科正教員、ソレカラ准教員、此俸給月額ハ——俸給月額計算致シマスル上、約二百九十三萬圓デアリマス、之ニ對シマスル増俸月額ハ六十七萬圓程ニナッテ居リマス、ソレデハ縣ニ依リマシテ多少區々ニナッテ居リマシテ、ソレカラ俸給令ノ其或ル部分ノ歩合ニ依リマシテ多少ノ差ガアリマス、詰リ最多三割カラ最小一割四分ノ間ノ増加ニナッテ居リマス、デ平均ハ二割三分ノ増俸ノ歩合ニナッテ居リマス、デ是ハ歩合ヲ申上デタノデゴザイマス、ソレデ教員ノ其俸給ノ平均額ハドウ云フ風ニナツカト云フコトハ、調ベマシタ所ガ、其結果ト致シマシタ本科正教員ノ増俸ハ、此義務教育國庫負擔法ノ實施前ニ於キマシテハ、約二十一圓ナリシト云フモノデゴザイマシタガ、増俸ヲ致シマシタ結果ト致シマシテ、二十六圓三十何錢ト云フ金ニナッテ居リマス、ソレカラ專科正教員ハ増俸前ニハ十三圓五十錢程デゴザイマシタガ、増俸後ノ月額平均ハ十六圓八十何錢ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラシテ准教員ニ付キマシテハ、増俸前ハ十二圓四十八錢ナリシト云フノデゴザイマシタガ、増俸後ハ十五圓七十二錢ト云フヤウナ數ニナッテ居リマシテ、之ヲ平均シテ見マスル上云フト、増俸前ハ約二十圓デゴザイマシタノガ、増俸後ハ二十四圓八十錢ト云フヤウナ割合ニナッテ居リマス、是ガ昨年マデ此負擔法ヲ實施致シマシタ結果ノ最モ大數デゴザイマス、尙ホ細カイ事ハ御尋ガゴザイマスレバ申上デマス

○樋口秀雄君 唯今ノ大臣並ニ局長カラノ御答辯中デ、尙ホ理解ノ出來マセヌ點デ、大臣ノ方ニ御尋致シマスガ、御返事ニ依リマスルト、豫想シマシタ通り約一千四百萬圓ト云フモノヲ、中小學ノ教員ノ優遇ニ御宛テニナル、是ハ地方ニ依ッテ統一のニイカナイ、狀況ニ依ッテ差別ガアデモ構ハヌト云フコトデアリマスガ、之ヲ統一スベキカ否ト云フコトハ

議論ニナリマスカラ止メテ置キマスガ、初メノ千四百萬圓ヲ支出スルノハ、大臣ノ御答辯ニ依ルト、恰モ官吏其他ノ臨時手當ノ如キモノデアアルカラ、一時地方稅ノ制限ヲ超過シテ之ニ當テ、モ宜カラウト云フ御意見ニ伺ヒマシタガ、臨時手當ノ意味デアアルカドウカト云フコト、是ガ臨時手當ト致シマスレバ、國庫負擔法制定ノ大精神、即チ英佛等ノ先進國ノ例ニハ及ビマセヌケレドモ、教員費ト云フモノ、約半額三分ノ一マデハ國庫ガ負擔スベキガ相當ダシテ殆ド二千萬圓ノ支出ヲ要求シタ、此全院一致ノ意見ハ尊重サレテ、後日次ノ年度ニ於キマシテモ、御提案ニナルト云フ御考ガアリマスガ、此大精神ヲ沒却スル上云フト、御考デアリマスガ、此二點ヲ伺ヒマス、次三局長ノ方ニ付テハ、岐阜縣ノ問題ニ付テハ御承知ガナリト云フコトデアリマスガ、甚ダ遺憾ニ思フ、此事ニ付テハ豫テ局長ニハ個人的ノ御通知モシテ置イタ答デアル、昨年ノ六月デアアル、教員、縣會議員、縣知事、並ニ學務課長トノ問題ニナリマシテ、岐阜縣ニ於テハ殆ド各町村共ニ國庫負擔ノ地方ノ教員費ノ負擔ヲ増加シタ此解釋ガ違フノデハナリカト云フ疑問ガアリマシテ、當時吾等ガ岐阜縣ニ參ッテ居リマシテ、其初メノ推定デアリマスガ、恐ラケ元ノ等級ニ依リ俸給ヲ給スルコトガアッテ、五級以上ハ一躍三割以上ノ増額ニナルノヲ、ソレヲ二割三分ノ補給ヲ受ケナガラ當然ノ事トシテ、其現給ニ據置イタ爲メニ、不足ヲ生ジタノデアアル、是ハ當然ノ結果デアルト思フ、サウシマスル當時ノ岐阜縣知事ハ——私共ノ長野縣ニ於キマシテハ此補給法ニ依リマシテ等級ヲ一級下ゲマシテ、之ニ對スル増俸ヲ致シマシタカラ、更ニ地方費ノ負擔ノ増加ヲ來シテ居ラス、是ハ知事ノ裁量ニ依ッテ出來ル事デアアル、ソレヲ岐阜縣知事ガ緩急ニシテ此點ニ氣付カズ漫然元ノ等級ノ儘デ三割以上ヲ補給ニナッテ居ル、ソレニ對シテ二割シカナイカラ不足ヲスルノハ當然デアアル、之ニ對シテ教育當局者トシテハ迅速ニ御調ヘニナツカト、思ヒマス、御承知ガ無ケレバ御調ベニナッテ此委員會ガ終ル迄之ニ付テノ詳細ナル御報告ヲ承ラヌト、之ニ對シテ吾等決定スルノニ少シク躊躇スルノデアリマス

○國務大臣(中橋德五郎君) 初メノ御尋カラ先ニ一ツ御返事致シテ置キマス、昨年本院ニ於テ議決ニナリマシタ一千萬圓ノ國庫補助費ヲ分配致シタ、其時ノ委員會ニハ御話ノ通りニ私ガ委員長ヲ承テ居タ譯デアリマスガ、政府當局ニ委員ノ中ヨリ御尋ニナツタ時ニ、少クトモ小學教員ノ給料ノ半額マデヲ出スヲ以テ理想トスル上云フト、教育會議デモサウニ云フコトデアッタカラ、サウニ云フヤウナコトニシテ行キタイト云フヤウナ返事ヲ、其時ノ當局者カラ得タノデアリマス、ソレカラ今回私共ガ之ヲ受取ッテ考ヘテ見マスル上云

フト此方法ガ果シテ宜イカドウカト云フ事ニ付テハ、疑問ヲ懷イテ居ル、即チ衆議院ノ議決ニナリマシタ此方法ハ果シテ適當デアアルカドウカト云フコトニ付テ疑問ヲ懷イテ居ル、ト云フノハ歸スル所初等教育ニ從事スル職員ノ手當ト云フモノヲ、十分ニシタイト云フノガ主タル目的デアアル、一ツニハ地方ノ負擔ノ輕減ヲ圖リタイト云フノガ趣意デアリマスカラ地方ノ負擔ノ輕減ト云フ問題ト兩様ニ見ナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、今ノ町村ノ徵稅ノ方法ト云フモノハ、是ハ最善ノモノデアアルカドウカ、是ハヤリ様カ惡イカモ知レヌ、學校ノ手當増額ト云フコト、ソレガ資源デアアル財源ヲ如何ニシテ供給スルカト云フコトハ、是ハ相絡ンデモ居リマスガ、又財政處理ノ上カラ見レバ、別問題ダトモ見ラレル譯デアリマス、ソレデ歐洲各國ノ例モ段々其時モ御話ヲ伺ヒ、其後モ省內デモ聽イテ居リマスガ、各國區々ニナッテ居ル、我國ハ如何ニスルカト云フコトニナリマスル上云フト、今日ノ立前ハ中等及ビ初等ノモノハ、地方ノ自治團體ノ財政デ以テ之ヲ擴張シテ行ク、專門以上ノモノハ國庫デ以テ之ヲ支辨スル上云フト立前デ來タノガ、昨年ノ國庫負擔法ガ出タ爲メニ、其一部ノ財政處理ガ混淆ヲ來シタカト云フ嫌ガアリヤセヌカト思フノデアアル、ト云フノハ是デ行クト小學教員ノ給料ノ半額マデデアリマスガ、半額ナラバ或國ノ如ク全額ヲ支給スル上云フト論モ起ルト思フ、サウスレバ地方ノ負擔ハ愈々輕減スル、ソレカラ地方ノ監督ヲ行クニ付テモ、國庫ト兩方デ行クト云ヒマス、動モスルト給料ヲヤルト云フ時ニハ國庫カラ持ッテ來ルガ宜カラウト云フ嫌ガ出ルデス、持ッ以上ハ全額ヲ持ッテ來ル趣意ガ立タス、財政ノ處理カ立タスデヤナリカト云フ疑念ヲ一方ニ於テ懷クノデアアル、ソレガ宜イカ矢張地方ノ自治團體ハ既ニ三十年許リノ歲月ヲ經テ居ルカラ——色々見様モアリマスガ、私共ハ餘程發達シテ居ルト思フ、此自治制ノ實施ノ爲メニ、地方ノ財政處理ガ付キ、事業モ起タト云フ風ニ見テ居ル譯デアリマスノデ、矢張此立前デ各地共ニ自分ノ町村ヲ愛シテ、ソレニ向ッテ施設ナリ世話ヲスル上云フト云フ方ガ、大體宜クアリハセヌカト云フ考ヲ一方ニ於テ起スノデアアル、ソコデ又一方ニハ地方ノ富源及ビ町村ノ財力ト云フモノハ、如何デアアルカト云フコトヲ見マスル、是モ私ハ全體カラ見テ、年々發達シテ居ルト見ルノデアリマス、決シテ衰頹シテ居ナイ、段々膨脹シテ資力ガ増シテ居ル、又増サナケレバ日本ハ困リマスカラ、増スヤウニシナケレバナラヌト云フコトニ考ヘテ居リマスガ、假學校ノ方ノ設備ト云フモノニ付テモ、段々改善ヲ要シ、設備ヲ要スルコトデアリマスガ、今ノ市町村ノ力ハ果シテ足リルカドウカ、アノ論ノ出マシタ時ニ、米ハ十五圓トカ十七圓トカ云フ時代デ今日三十四圓シテ居ル時代ト違ヒマスガ、又米モ下

リマセウ、此消長ハ始終アルコト、考ヘナケレバナリマセウガ、大體ドウデアラウカ、之ニ向テ學校ノ施設ヲヤリマスノ、今後大體三國庫カラシテ金ノ餘裕ノアル時ニハ出シテ、遂ニハ半額若クハ全額マデ行ッテ、後ノ經費ト云フモノハ、矢張町村ニ持タスカ、或御方ノ御話ノ如ク義務教育ヲヤラスノダカラ國庫ガ持ツト云フナラバ、全額ヲ國庫ガ持テモ宜カラウト云フ議論モ出テ來ル譯デアラウカ、之ニ付テハ私共今研究ヲ重テ居ル譯デアリマス、町村財政ニシテ所ガ、資源如何ノ問題デアリマス、資源如何ノ問題ナラバ、今ノ徵稅方法デイカナケレバ、或ハ新稅ヲ起シ、若クハ國庫收入トナッテ居ル稅源ノ一部ヲ、市町村ニ渡ス事ガ宜イカモ知ラス、是ハ財政處理上ノ問題デアル、ソレニ付テハマダ成案ヲ持テ居リマセウ、差當リ本年度ハ洵ニ差迫タモノデアラウカ——

政府ニ於テハ増稅計畫モ立テナイシ、昨年ノ收入ヲ基礎トシテ、國庫ノ財政計畫ヲ立テタモノデアラウカ、是ハ中央政府、地方道府縣町村力ヲ合セテ目下ノ急ヲ救フト云フ事ガ必要デヤナカラウカト云フコトカラシマシテ、當分ノ中時局ノ影響ニ依リ必要ナル費用ニ充ツト、斯ウ云フ積デ此度ノ提案ヲ致シタヤウナ譯デアリマス、又此點ニ付テハ來年度ノ豫算ニ對シテ攻究シタイト實ハ思ッテ居リマス、デス、アノナリデ段々半額マデ——半額デ止メルコトガ出來ルカ、ドウカ私疑フ譯デアル、金デ以テ國庫カラ出スガ宜イカ、稅源ヲ以テ吳レル方ガ宜イカ、或ハ市町村ノ力デアルカ調査ノ上デナイト分ラヌ、私ハ今ノ處疑問ヲ以テ調査シテ居ル譯デアリマス

○委員長(三土忠造君) 一寸樋口君ニ御諮リ致シマスガ、此委員會ハ豫算委員會ト違ッテ、幾度モ發言ガ出來マスカラ、一人デ持チ切ラズニ少シ順ニ廻シテ、他ノ人ノ質問ニ依テ明瞭ニナッタ事ハ省イテ、幾度デモ御質問ニナッテ宜シウゴザイマスカラ、今マデノ質問デ明瞭ニナラヌ事ハ別デアリマス、サウデナイ問題ハ、此際一遍打切ッテ他ノ人ニ譲ッテ戴イテハドウデアリマセウカ

○政府委員(赤司鷹一郎君) 岐阜問題ニ付キマシテ、昨年樋口君カラ非公式的ニ御話ハ承リマシタ、其點ニ付キマシテ私ノ方デモ非公式的ニ注意ハ致シテ居ッタデス、實施致シマスニ付キマシテ、大體ノ標準ハ昨年其時ノ文部大臣ヨリ説明ガゴザイマシタ通りニ、教員ノ待遇ノ向上地方ノ負擔輕減、斯ウ云フコトノ二ツノ大體ノ目的カラ、ソレヲ實施スルニ付キマシテハ、向ホ地方長官ニ成ベク一任スルト云フ方針ヲ初メカラ取ッテ居ッタデアリマス、ソレデ地方長官ニ成ベク其土地ノ事情ニ適スルヤウニヤルト云フコトデ一任スル、即チ地方當局者ガ或ル府縣ニ於キマシテ、是ハ教員ノ増俸ニ當テ方ガ、自分ノ縣下ニ於テハ利益デアル、必要ヲ感ズルト云フ場合ニハ、或ハ教員ノ優遇ニ充テルカモ知レヌ、或ハ負擔ノ輕減ヲ必要ト認メタ場合ニハ、其方ニ充テルカモ知レヌ、斯ウ云フ立方ニ進ンデ參ッテデアリマス、是ガ一ツ、モウ一ツハ御承知ノ通り昨午度貴衆兩院議員ニ於キマシテ、矢張法律案ノ委員會ナドニ於キマシテ、御議論ノ出マシタ通り、大體此都會地ニハ頭割ニ分ケルノデアリマス、都會地ニハドウモ割ガ惡クナル、之ニ反シ俸給ノ平均額ノ少ナイ地方ニ於テハ割ガ善クナル、即チ

町村ノ先ヅ資力ノ弱イ者程割ガ善クナルト云フ形ニ、幾ラカナルト云フコトハ昨年モ説明ヲ申上ゲテ置キマシタ通りデアリマス、其結果ト致シマシテ例ヘバ都會地ナドニ於キマシテハ、去年ノ配當額ヲ受ケマシテ、サウシテ教員ノ俸給ヲ昇ゲルト云フ場合ニハ、ドウモ繼ギ足サナケレバ昇ゲ得ナイト云フ事情ガ澤山アルノデアル、併シ町村ノ方ニ於キマシテハ、サウ云フ問題ガ比較的少ナイ——是モ絕對ニ無イトハ申上ゲマセウ、少ナイ譯ニナッテ居リマス、サウ云フ風ナ標準掛リマシタ結果ト致シマシテ、先ヅ私ノ方デ大體見渡シマスルト云フ、岐阜縣ノ全體ニ配當ヲ致シマシタ所ノ義務教育費、國庫配當額ハ是ハ九百萬圓ノ方ノ計算デゴザイマスガ、十八萬四千四百四十四圓ト云フモノガ、教員ノ國庫ノ配當金デアル、ソレニ對シマシテ教員ノ増俸ノ金額ニ之ヲ計算致シマスルト十八萬二千二百九十六圓、先ヅ大體ニ於テ超過ハ致シテ居ラスノデアリマス、其他ニ尙ホ茲ニハ申上ゲマセウデシタガ、是ハ九百萬圓ノ配當デアリマシテ、此外ニ尙ホ岐阜縣ニハ資力薄弱ナル町村ニ對シマスル所ノ、國庫配當金ト致シマシテ二萬圓以上ノ金ヲ支給シテアルノデアリマス、大體ト致シマシテハ、御話ノヤウナ事ハソレ程認メ得ナイト考ヘテ居リマス

○樋口秀雄君 委員長ノ唯今ノ御說モアリマスカラ、此町村教員ニ關スル問題ハ是デ打切リマスガ、今一ツ申上ゲテ置カケレバナラヌノハ、中橋文部大臣ガ唯今昨年提出シタ國庫負擔法ノ精神ニ付テ、國庫ガ全部負擔スルガ宜イカ、地方デヤラシタ方ガ宜イカト云フコトニ疑義ヲ持ッテ居ルガ、先ヅ八年度ダケハ斯ウヤルノデアルト、斯ウ云フ風ニ仰シヤイマシタ、此事ニ付テ誤解サレテ居ルダラウト思フノハ、昨年ノ委員會ニ於テ斯ウ云フ說ガ出テ、私カラモ發言致シテ出タノデアリマス、各國ノ例ニ準ジテ全部負擔スルト云フコトガ好クハナイカト云フ、或議員カラノ質問ニ對シテ、是ハ私トシテハ、教育費問題ト同様、自治體トシテ其地方ノ父兄ガ、子弟ノ教育ノ義務ヲ全然怠ラデモモイト云フヤウナ疑念ヲ懷カセルノハ、甚ダ思ハシクナイ譯デアラウカ、全部國庫負擔ト云フコトハ不賛成デアル、先ヅ今ノ財政狀態其他ニ於テ、出來得ル事ナラバ半分位負擔シテ、地方ノ負擔ヲ減ジタイト云フ事ヲ申上ゲタノデ、之ニハ大多數ノ御贊

成ガアタ、會議ガ一回アッタデアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス、ソレカラ今度ハ高等學校ノ問題デアリマスガ、茲ニ表ニアリマスニ二十七校及大學擴張、之ニ對シテ先日本會議ノ節ニ井原君カラ大臣ニ質問シタ時、大臣ノ御答デハ、設置場所ト云フモノハ全國ニ公平ニ高等教育機關ヲ分配シタイ、又地方ノ狀況ヲ參酌シテ不公平ノナイヤウニヤリタイト云フ御答辯デアッタ、シマスル其豫定地ハ略々御著手ニナッテ居ルト思フ、之ヲ一ツ豫メ伺テ置キタイ、ソレカラ高等學校十校、工業學校六校、商業學校七校ヲ創設サレルト云フ事デアリマスガ、是ハドウ云フ地方ニドウ云フ標準ヲ以テナサレヤウト云フ御考デアリマス、是ガ一ツ、ソレカラシテ、此學校創設ニ對シテ寄附金ノ件ニ付テ、再三御答辯ガアリマシテ、從來ノ如ク寄附金ヲ強請シナイ寄附ヲスル所ハ之ヲ受クルケレドモ、ソレモ富豪ノ寄附ニ待ツト、斯ウ云フ御答辯デアッタ、ソレナラバ若シ富豪ノ寄附ガ無カタナラバ、御豫定ノ土地デアッテモ其處ニハ建テヌト云フ御考デアラウカ、若クハ寄附ガ無クトモ豫定デアル以上其豫定地ニ建テル、サウシテソレダケノモノハ借入公債ヲ以テヤルト云フノデアラウカ、先日大學特別會計ニ關スル委員會ニ於テ、大臣ノ御答辯ニ依リマス、マア確トハ分ラナイケレドモ、打明ケテ云ヘバ千萬圓位ノ寄附ハアルカモ知レナイト云フ事デアッタ、然ラバ寄附金ノ一千萬圓ト御下賜金ノ一千萬圓ヲ合セテ二千萬圓以外ノモノヲ、公債デ借入レテ支辨サレルノデアルトスルト、御豫定ノ場所ハ寄附ガ無クトモ是非建テネバナラヌト云フ事ニナル、然ルトキハ斯ウ云フ疑問ノ起ルコトヲ私ハ遺憾トスル、先年司法當局ガ不都合ニモ、控訴院問題ヲブラ下ゲテ長崎カラ福岡、熊本ト云フ風ニ寄附金ノ多イ方ヘ彼方此方ト持ッテ行ッテ、世間ヲ騒ガシタ事ガアリマスガ、此教育機關ノ上ニ於テハ斯ノ如キ惡弊ヲ貽スコトノナイヤウニ、十分御注意ヲ願ヒタイ、此點ニ付テ御豫定地ハ寄附金ノ多少ニ拘ラズ御遺リニナルカナラナイカト云フ事ヲ一ツ伺ヒタイ、更ニ此大學ヲ昇格サセル所ノ標準ハ何處ニ御採リニナッタノカ、例ヘバ千葉ノ醫學專門學校ト、名古屋ノ愛知專門學校ト云フモノヲ比ベマス、設備ニ於テモ從來ノ成績ニ於テモ、名古屋ノ方ガ寧ロ上デナイカト、私ハ第三者ノ目カラ見テ信スル、然ルニ千葉ハ官立デアアルガ爲ニ大學ニ昇格シ、名古屋ハ公立デアアルガ爲ニ大學ニ昇格シナイ、殊ニ名古屋ノ方ハ醫科關係者ガ百萬圓ノ寄附金ヲ出スト云フコトガ既ニ確定シテ居ル、斯ノ如キモノヲ殘サレタノハ其標準ハ何處ニアルカ、私ハ疑フノデアリマス、其故大學昇格ノ標準ト云フモノヲ第三ニ伺ッテ置キタイ、ソレカラ本案ニ依リマシテ從來多數ノ入學志望者ニ對スル一時ノ救済ハ出來マセウガ、年々歲々増加スル

中學卒業生及高等ノ學業ニ就カントスル志望ノ増加ノ傾向ヲ示シテ居ル所ヲ調ベマスルト、是ダケデハ不十分デア
ルト云フコトハ、先日大臣ガ自ラ言明ニナタ所デア
ル、シテ見マスレバ之ヲ補フニ私立學校ヲ以テスルト云フコトハ
明カデア
ル、然ルニ私立學校ノ生徒收容力ヲ七千人ト云フ
コトニ據置カレルト云フコトハ、惡ク申シマスルト、今日官
學萬能ト世間ノ叫ビアル矢先、官學ノミニ高等教育機
關ヲ獨占シテ、私立ノ方ハ追々廢滅ニ就カシムル方針デハ
ナイカト云フヤウナ、痛クモナイ腹ヲ疑ハレル虞ガアリハセヌ
カト思フ、是ハ私立大學ノ收容力ヲ増サセリヤウニシテ、此
教育機關ノ不備ト云フモノヲ補フテ行ク、入學志望者ノ浮
浪者ニ陷ルヤウナ者ヲ教育スルト云フ趣意ヲ徹底セシメル
ニハ、私立學校ニ對シテ優遇ノ方法ヲ採ラナクバナラヌ、
殊ニ私立學校ト雖モ先日私ガ質問書ヲ提出シマシタ通り、
多年ノ間政府ノ設備ガ不十分ノ間ニ、困苦ヲ忍ビテ多年
學界ニ貢獻シテ居リマシタ功績ヲ認メタナラバ、是等ニ對
シテモ相當保護ノ法ヲ講ゼラレ、其收容力ヲ増サシムルト
云フコトガ、此擴張案ノ精神ニ適フモノデハナイカト思ヒマ
スガ、是等ニ對スル政府ノ御考ハ如何デア
ルカ、此四ツノ點
ニ付テ伺ヒマス

○國務大臣(中橋德五郎君) 先程申シ落シマシタカラ、此
處ニ更メテ申上デテ置キマスガ、樋口サウカラ擴張案ニ御
賛成ノ御趣意ガアリマシタガ、是ハ厚ク御禮ヲ申上デテ置
キマス、此處ノ豫定地ノコトデア
リマスガ、實ハ豫定シテ居
リマス、此處ノハ大體ノ計算ヲ立テマシテ、全體ニ向テ何
處々ニ何ヲ置クト云フト云フコトヲ大體豫定シテ居リマ
ス、併シ其實行上ニ付キマシテ、八年度ノモノハ準備行爲
トシテ、ボツ／＼相談ヲ始メテ居リマスガ、九年度以降ノモ
ノニ付テハ其學校ノ種類ヲ、マダ其地方ニハ申シテ居リマ
ス、是ハ八年度ノガ決マデカラニシタイト云フ考ヲ持ッテ居
リマス、長崎ノ控訴院、何處其處ノ控訴院ト云フ御話ガ出
マシタガ、サウ云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、即チ昨年度設置
ナリマシタ十校、ソレカラ八年度ノ總豫算ニアリマス四校ノ
如キモノハ、稍、其嫌ガアツノデハナイカト云フ考ヲ持チマス
ケレドモ其當時ノ狀況ハ十分私ハ存ジマセヌ、併シ今回ノ
ハ是非是ダケノモノハ少ナクトモ必要ナリト云フ計畫ヲ立
テマシタノデア
リマスカラ、全國ニ向テ豫定シテ居リマス、
併シ其各地ガ大抵從來カラ、中ニハ數年前ヨリ、又此頃ニ
ナッテ申出ノアツタモノモアリマスガ、是非寄附ヲスルカラ此
方ヘ學校ヲ設置シテ呉レト云フモノガ、非常ニ多數アルノデ
アリマス、ソレデ全國ニモ十分餘裕モ無イモノデスカラ、出
來ルナラバ地方デ寄附ヲシタイト云フモノガアリマスナラバ、此
方デモ是非ソレヲシテ貰ヒタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマ

ス、其寄附ハ先程御話ノアリマシタ如ク、此處ハ縣債ノ如
キモノハ御斷リヲシタイ、出來ルダケ富豪ノ寄附ニ俟タリ、
ソレカラ地方ノ課稅若クハ積立金ナドデヤッテ居ル處ガア
ル、全部ソレカラ出シテ居ル處モアル、金ノ有ル縣デハ歳入
ノ剩餘金ヲ出ス縣モアリマス、是モ中々多イガ、主トシテ一
番多イノハ富豪ノ寄附デア
リマス、是等ノモノヲ合セテヤッ
テ貰フコトハ非常ニ結構ト思フデ居リマスガ、今絕對止メテ
居リマスノハ縣債デア
リマス、サウ云フ調子ニナッテ居リマ
ス、其寄附金ノ相當ノ額ニ達スル處ハ成ベク早く拵ヘル
ト云フ方針ヲ取ッテ居リマス、ソレデ若シ今年某縣ニ於テ君
ノ方ノ希望スルモノヲ拵ヘルガドウカト相談ヲ始メタ時ニ、
ドウモ今年ハ寄附ガ十分往カヌカモ知レト云フ處ガアレ
バ、ソレハ翌年度ニ廻スト云フヤウナ取扱ニシテ居リマス、併
シソレハ實際ニハ行ハヌデモ宜イヤウデス、大抵地方ノ希望
ガ非常ニ熱心デア
リマスカラ、其餘地ヲ取ル爲メニ九年
度以降ノモノハ明言シテ居リマセヌ、併シ大體申上デテ置
キマスノハ、各縣共少ナクトモ一ツノ專門學校ヲ持ツト云
フコトダケハ申上デラレマス、北海道ハ此度ノ計畫ニハアリ
マセヌ、ト云フノハハ工科大学ヲ札幌ノ大學ニ新設致シ
マス、其工科大学ノ下ニ豫備校ヲ拵ヘマスカラ、一ツ割當
テラレテ居ルノデア
リマス、豫備校ハ高等學校ト同様ノモノ
デア
リマスカラ、サウ高等學校ヲ一地方ニ集メル譯ニモ行キ
マセヌカラ、先ヅ北海道トシテハ豫備校タル高等學校程度
ノモノヲ一ツ、ソレカラ工科大學ヲ一ツト云フ割當ニ致シテ
居ル、他ノ内地ノ各縣ハ悉ク行渡ルヤウニナッテ居リマス、大
阪ノ如キハ此豫算ガ通過致シマシタラ、外國語學校ト高等
學校ト二ツ、彼處ハ從來隣縣ノ京都ニ大學ガアリ其他ノ
學校ノ設備モアル、ソレニ對シテ餘程遅レテ居リマスカラ、
是ハモウ少シ進メタイト云フ考デア
リマス、其他ノ地方デモ
五十萬六千ト云フ人口ノアル大都會ニハ、多ク一ツ位
往ク豫定ヲ付ケテ居リマススケレトモ、多クサウ云フ大都會ハ
既ニ一校工事中デア
リマスカラ、ソレニ對シテ割振ハ成ベク
シナイヤウニシタイ、サウシナイト無理ガ出來マスカラ、サウ
云フ調子ニ運ンデ居リマス、ドウカ九年度以降ノ豫定地ヲ
此處デ言フコトハ差控ヘテ置キタイト思ヒマス、其方ガ實行
上工合ガ好クハナイカト思ヒマス、ソレカラ最後ニ若シ殘
處デ、寄附ノ無カド處ハドウスルカト云フ御話デア
リマス
ガ當局ノ考デハ、最後ニハ寄附ガ無クテモヤル積リデア
リマ
ス、サウ云フ計畫デ進ンデ居リマス、ソレカラ次ニ大學ノ豫
定地デア
リマスガ、是ハ斯ウ云フコトカラ割出シテ居リマス、
他ノ專門學校ハ十九校アリマスガ、ソレカラ卒業シタ者ハ社
會ニ出マスカラ問題ハアリマセヌ、併シ現ニ計畫シテ居リマ
ス高等學校ト云フモノハ、昨年度ニ決マタモノガ四校、ソレ

カラ本年度ノ總豫算ニアリマスモノガ三校、併セテ七校、ソ
レニ八校加ヘマスト十五校ニナル、其外ニ此擴張ニアリマス
ノガ十校アリマスカラ、是カラ卒業シテ來ル者ガ一寸今日ノ
倍ニナルノデス、此數ガ五千許リニナリマスガ、此者ヲ收容
スルト云フ所カラ算定ヲシテ、大學ノ増設及擴張ト云フモ
ノヲ計畫シテ昇格スルモノガ六ツ、ソレカラ學部ノ新設ガ十
ニナリマス、學部ノ擴張ト云フモノガ亦五ツカアリマス、ソレ
カラ名古屋ノ醫學部ノ御話ガ出マシタガ、是ハ關係アリマ
ス、ト云フノハ中學卒業生ノ收容力カラ主トシテ割出シ、一
部ハ高等學校ヲ卒業シタ者ヲ收容スル大學ト云フモノカ
ラ、割出シテノデア
リマシテ、此五ツノ專門學校ハ、若シ之
ヲ昇格シテ高等學校ノ第三分科ヲ卒業スル者ヲ収メヤウ
トスレバ、之ヲ昇格シナクバ現在ノ帝國大學ノ醫科ヲ擴
張シナクバナラヌト云フコトニナッテ來マスガ、今ノ醫科ハ
力一杯ニナッテ居リマス、一番是ガ收容力ガ乏シイト云フコ
トガ、統計上現ハレテ居リマス、ソレカラ今ノ五ツノ大學ノ
醫科ヲ擴張スルニシマシテモ、中々相當ノ金額ヲ要シマス、
ソレナラバ一層全國ニ之ヲ配置シタ方ガ宜カラウ、他ノ種
類ノ大學ニシテモ、今後段々單科大学ヲ全國ニ成ベク適
當ニ配置シタイト思フデ居ルヤウナ譯デア
リマスカラ、今在ル
大學ニ向テ、集中スルコトハ出來ルダケ止メタイト云フ考
カラ、之ヲ上デテ譯デア
リマス、ソレカラ是ハ先日カラ度モ申
シマス通りニ、此度ノ學令案デハ、官立モ公立モ私立モ共
ニ發達スルヤウニ希望スル積リデア
リマシテ、私共ハ熱心ニ
ソレヲ主張シテ居リマス、今回慶應義塾デ二百六十何万
圓カノ金ヲ拵ケテ、醫科大學ヲ拵ヘルト云フコトデア
ルガ、
是ハ非常ニ賛成デア
リマス、今日ノ大阪ノハ醫科大學ト
考ヘテ居ルヤウナ譯デア
リマス、今日ノ大阪ノハ醫科大學ト
名前ハ著イデ居リマスガ、マダ專門學校デア
リマス、ソレカラ
京都ノ醫學專門學校ハ名古屋ノ醫學專門學校、熊本ニ私
立ノ醫學專門學校、東京ニモ一ツ三ツアリマス、ソレハ現
中學ノ生徒ヲ收容シテ非常ニ有力ナ機關ニナッテ居リマス、
是ガ自分デ大學ニ昇格スル事ハ是亦極メテ歡迎スル所デア
リマス、愛知縣ノ如キ金ヲ持ッテ來タト云フ話ガアリマシタ
ガ、ソレハ此方ガ餘リ考慮ヲ費シテ居リマセヌ、府縣カラ寄
附金ヲ持ッテ來ルト云フ事ガ一ツノ疑問デア
リノミナラズ、
其前ニ既ニ公立ニナッテ中學ノ生徒ヲ收容シテ居ルノデア
リマスカラ、大變此度ノ計畫ニハ有要ナ一ツノ機關デア
リマ
スカラ、成ベク是ナリデ置キタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス、
ソレカラ第四ニ本年々中學卒業生ガ増加スルカラ、私立ノ學
校ガ必要アラウト云フ御話ガアリマシタガ、ソレハ御尤ナ御
話デ、大正六年度ニ二萬八千人卒業シタ者ガ、大正十三年
十四年ニ至ッテ三萬人許リト云フ推算ヲ付ケタモノガドウ

變遷スルカ、熟考セムト分ラヌト思ヒマス、ト申シマスノハ中學ノ卒業生ガ餘程其數ヲ増シテ來テ居ル、此表デ見マス明治二十年ニハ卒業生ガ百八十一人シカナカッタ、ソレガ三十年ニハ二千五百人ニナリ、ソレカラ四十年ニハ一万四千、非常ナ殖エ方デアル、サウシテ大正六年ニハ二萬千人餘ニナッテ居リマス、サウフヤウニ今後モ進ミマスカ、或ハ今後ハ多少其増進歩合ガ減ルカモ知ラヌト思フ、ト云フノハ近來各地カラ有志ノ御方ガ段々御出ニナッテ、其希望モ聞キマスガ、先達テ貴族院議員ノ多額納稅者ノ方ガ數名御出ニナッテ、ドウモ今日中學校ヲ澤山拵ヘテ居ルガ、社會ニ出テカラ役ニ立ツ事ガ乏シイノ困ル、故ニ中學校ヘ持ッテ行テ商業ナリ、工業ナリ、農業ナリヲ多少加味スル教育ノ仕方、出來ヌモノカト云フ御話ノ通り、各地共ニ餘程サウ云フ事情ガアル、ソレデ近來甲種、乙種ノ商業學校ト云フモノガ、非常ニ數ガ殖エテ來タ、此統計ヲ見マス二百幾ラアル、サウ云フ譯デ、此卒業生ガ直ダ役ニ立ツト云フ事ガ餘程増シテ行キハセヌカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、サウスレバ各地ノ父兄ノ希望ニ副フ譯ニナッテ居リマスカラ、隨テ今日各府縣ニ於テ中學校ヲ一ツ増設スルト、又一方ニ甲種ナリ、乙種ナリノ農學校、商業學校ヲ拵ヘルト云フ傾キニナッテ來タト思ヒマス、此消長ガ今後如何ニナルカ、豫メ豫定ガ付カヌト思フノデアリマス、ソレカラ私立學校ノ御話デアリマスガ、是ハ今日マデ誠ニ力ヲ御盡シ下サッテ、國家ニ貢獻スル事ガ夥シイ譯デアリマス、先日松田源治君ガ御話ニナッテ通り、私立學校出テ判檢事ニナッテ居ル者ガ千數百人、知事ニナッテ居ル者モ四人ト言ハレマシタガ、一時ハ四人デアリマセヌ、餘程マダ餘計アリマシタ、ソレカラ各官衙及各會社等ニ對シテモ多數ノ人材ヲ出シテ居ルノデアリマス、之ニ向ッテハ先日カラ度々御返事シテ居リマス通り、出來ルダケ優遇ノ方法ヲ立テ、見タイト思ッテ居ル譯デアリマスガ、其方法ヲドウスルカト云フ方法ニ付テハ、マダ大シタ名案モ見付ケ出サナイ譯デアリマス、中ニハ二十萬三十萬ノ金ヲ與レタラ宜カラウト云フ話モアリマスケレドモ、是モ調ベテ見ルト隨分困難ヲ感ズルノデアリマス、ト云フノハ法律學校ダケニ出スカ、水産學校ハドウスルカ、現在ノ所六十四程アリマスガ、其中宗教ノ學校デハ本願寺トカ、天理教トカ金ノアル教會モアリマスシ、又誠ニ貧シクテ氣ノ毒ナノモアル、外國人ガ倫敦、紐育ノミツシヨシカラ建テ、居ル學校モ多イト云フ譯デアリマスシテ、今日中學ヲ卒業シタ生徒ヲ容レル私立學校ニ對シテ、何カ良イ方法ガアラウカ、私共マダ考ヘ付キマセヌ、先日モ御話致シマシタ學校ノ敷地ノ負擔ト云フヤウナ事ハ、計畫シテ見タイト考ヘテ進行シテ居ルヤウナ譯デアリマスガ、直チニ金ヲ總メテドウト云フコトハ餘

程困難デナイカト云フ感ジヲ有ッテ居リマス、又新學令ニ依ッテ相當ナルモノガ出來マスレバ、之ニ向ッテハ相等ナ途ガアリハセヌカト云フ考ヲ有シテ居ル、實ハ露骨ニ御話シマス、私モ關係シテ居ル學校ガ幾ツモアリマスガ、今日迄ハ殆ド授業料ヲ經濟ヲ立テ居ルヤウナ譯デ、亞米利加邊ノ私立學校ノ遺方ト餘程違ッテ居ル、是ハ相當ニ機關ガ増シテ來レバ狀況ヲ異ニシテ來ルダラウト思フノデアリマス、私立學校ニ向ッテハ出來ルダケ其金ヲ募集スルガ宜カラウ、實ハ此時節柄ガモウ少シ續イタラ宜カク知ラヌガ、吾等ガ關係シテ居ルノモ、現ニ先達テ寄ッテ其金ノ話ヲ相談シテ居ルヤウナ譯デアリマス、是位ナ程度デ、尙ホ御質問ガアレバ御答スル事ニ致シマス

○委員長(三土忠造君) 如何デスカ、十二時ニナリマシタガ、午後ハ豫算委員會ガアルサウデアリマスケレドモ、文部大臣ハ一寸出席スレバ宜イサウデアリマスカラ、繼續シテヤリマセウ——午後一時カラ開會致シマス、暫時是デ休憩致シマス

午後零時一分休憩

午後一時十五分開議

○委員長(三土忠造君) 開會致シマス、午前ニ引續キ質問ヲ致シマス、横田孝史君

○横田孝史君 御尋ヲシテ見タイコトハ、學校問題ト地方稅制限擴張問題ト兩方ニ互ル問題デアリマス、最前委員長ノ御宣告ニ依ッテ、唯今ハ學校問題ニ局限シテ御尋シテ見タイト思ヒマス、無論前質問者ニ依ッテ盡サレテ居ルコトハ省キマシテ、二三ノ疑問ヲ質シテ見タイト思フノデアリマス、由來文部省ハ始終ノ場合、總テノ機會ニ於テ其施設スル所甚ダ不十分デアッテ、吾等常ニ遺憾ト思ッテ居ルノデアリマス、然ルニ今回此高等學校施設擴張等ニ付テ、曾テ見ザル案ヲ提出サレマシタコトハ、寧ろ當局者ノ勇氣手腕ニ敬服スル者デアリマス、誠ニ云ハシ、三十九議會ニ於テ時局ニ伴ヒ工業ノ發達ヲ期スベクト云フ、堂々タル名ノ下ニ、僅ニ東京京都兩大學ノ擴張費ハ、三十萬前後ノ金ヲ計上シタコトガアリマス、之ニ比シテハ今回ハ非常ナ御設計ト言ハザルヲ得ヌ、就キマシテハ成ベク之ヲ實用的ニ有効的ニ、莫ニ本會ニ述ベラレタル四千萬圓ノ大經費ト云フモノヲ利用セラレンコトヲ望ムノデアリマス、此意味ニ於テ新ニ——殆ド新ニ施設セラレタルコトガ主デアル、所謂大臣ノ口ヲ藉リテ云ヘバ順應主義、即チ各方面ニ於ケル生徒志望者、志願者、年々歳々多キヲ加ヘル、殆ド之ニ對シテ收容ノ途ガ開ケテ居ナイノデアリマシテ、此點ハ如何ニモ御尤デアリマス、果シテ然ラバ新ニ施設スル外ニ在來ノ學校ノ利

用、例ヘバ地方ノ中學校ニ對シテハ、今二箇年ヲ増加シテ現在ノ高等學校ニ代ルベキノ案、若クハ地方ノ高等學校ヲ改造昇格シテ大學ニスルト云フガ如キコトハ、常ニ教育社會ノ豫テノ問題トナッテ居ルコトハ、承知シテ居リマス、事此ニ出シテ新ニ施設サレタルコトハ結構デアリマスガ、管ニ四千萬幾ラト云フ創立費ト、更ニ將來年々歳々之ニ費スルノ經常費ハ申スマデモナク、無制限ニ國民ノ負擔ニ歸スルノデアリマス、今一ツハ世間既ニ官學萬能ト云フ言葉ガアリマスガ、此意味ニ於テ私共ハ在來ノ公立乃至私立學校、是等ニ對シテ、今少シ順應主義ノ下ニ之ヲ獎勵シ、之ニ補助ヲ與ヘ、以テ之ヲ完成シ之ヲ利用スルト云フガ如キコトニハ御考ガ無カッタモノデアアルカ、參考書トシテ御配付ニナリマシタ此第二ノ末文ニ、公立又ハ私立各高等學校專門學校ノ成立、又ハ擴張アル場合云々、如何ニモ未來ノミヲ主トセラレテ、現在ノ私立學校ニ對シテ何等カノ御考ガ此間ニ於テアルベキ筈ナルモ、吾等ハ窺フコトガ出來ナイ、故ニ到底此公立學校私立學校ナルモノハ、此場合ニ於テ之ヲ助成シ之ヲ利用スルト云フコトノ御考ガ無カッタモノデアアルカドウカ、ソレカラ今一ツハ此十五日デアリマシタカ、本會デ大臣ノ御演說中ニ分布主義ヲ執ル、即チ日本ノ文化ハ東北ト云ハズ九州ト云ハズ一齊ニ進歩サセタイ、此意味ニ於テ分布主義ヲ執ルト云フ御言葉デアッタヤウニ伺ッタルデアリマス、又大臣ノ樋口君ニ對スル御答辯ノ一節ニ依リマシテ、各府縣普ク及ブノデアアル、斯ウ云フ御言葉モ最前伺ッタルデアリマス、如何ニモ分布主義、如何ニモ平均主義、假リニ是ナリト致シマシタ所デ、學校ノ性質ニ依リマシテハ、必シモ分布主義ニナリト云ヘヌダラウト思ヒマス、諺ニ曰ク社會ハ大學校ナリ、斯ウ云フ言モアル、或ハ或專門學校或實業學校、其他常識ノ發達ヲ期スル上ニ於キマシテモ、寧ろ大都會若クハ相當地方ニ置イテ以テ是ナリトスベキ必要ガアリマシタナラバ、矢張大臣ハ徹頭徹尾分布主義ヲ以テ必要ナリト云フ御認メデアリマスカドウカソレカラ今一ツハ此同一ノ意味ニ於キマシテ、今回ノ御下賜金ハ既ニ之ヲ基礎トシテ不足ノ三千万圓計リヲ、公債ニ依ッテ支辨スルト、斯ウ云フ御說明デアッタヤウニ思ヒマスガ、此御下賜金ナルモノハ絕對ニ公立乃至私立ノ學校ニ及バザル御考デアリマスガ、兎モ角モ此問題ハ、今日吾等ガ特ニ重キヲ置ク次第デアリマス、最前モ此創設擴張ニ付テ述ベマス如ク、管ニ創立ノ場合ニ止ラズ、將來ノ維持費即チ經常費ト云フモノニ考慮ヲ及ボサナケレバナラヌ、シテ見レバ此御下賜金ノ如キモノモ或相當ノ公私立學校ノ分配ナリ、或ハ私學ノ獎勵ト云フ意味ノ下ニ分配サル、必要ハナイカ、尙ホ在來ノ公私立學校ニ對スル經濟的觀念ノ下ニ、親切ナル當局大臣ノ御

辯明ヲ望ムノデアリマス、聞ク所ニ依レバ伊太利ノ如キハ、或ル地方ニ於テ或ル學校ヲ希望スル、此場合ニハ多クノ場合、國縣若クハ市トモ、各三分ノ經費ヲ負擔シテ行クコトニナッテ居リマス、今回大臣ノ言ハル、分布主義ヲ執ルトシテモ、此點ニ付テ御考ハ如何デアリマス、絕對ニ創立費ノミニ止マルノデアリマス、寄附金ノ事モ最前御話ヲ伺ヒマシタガ、寄附金ノ如キハ創立費ニ充テルノヲ、寄附者ニ對シテハ將來維持費ヲ強ユルコトハ出來ヌノデアリマス、是等モ唯、創業ノ事ノミ、御考デアッテ、將來ノ事ニ付テ吾々ノ首肯スルコトノ出來ル御說明ヲ聽クコトノ出來ヌノハ、聊カ遺憾トスルノデアリマス、序ニ創業ノ際ニ最モ必要ヲ感ズ不便ヲ感ズルノハ教師デアリマス、學校ハ金サヘ有レバ出來ルケレドモ、必要ナル教師ヲ如何ニスルカ、此參考書ニ依ッテ見ルト、若干ノ金ヲ使ッテ若干ノ人間ヲ養成スル、其手段トシテハ洋行サス、果シテ今日ノ物價騰貴——是ハ日本ノミデハナイ、苟モ高等學校教師タルベキ人間ヲ養成スルニ、斯ノ如キ費額ヲ果シテ足ルト云フコトハ、吾々寡聞ニシテ了解ニ苦ムノデアリマス、文部省トシテハ會テ見ザル所ノ大勇氣、大奮發ヲ以テ此案ヲ提出サレマシタコトノ勇氣ニハ、敬服スル一人デアリマス、此教師ヲ如何ニスルカト云フコトハ、此參考書トシテ御示シニタツ事デハ、十分ノ確信ヲ此案ニ持ツコトガ出來ヌノデアリマス、今少シ詳細ナル説明ヲ望ム次第デアリマス、假リニ若干ノ人ヲ派遣スルニシテモ、第一ニ人物ノ選擇、ソレカラ歸朝後ニ於テ或ル事情ノ爲メニ他ニ其目的ヲ轉換スルト云フコトハ、他ノ事例ニ於テ往見ル次第デアリマス、是等ニ對スル注意デアリマス、ソレカラ近來聞ク所ニ依レバ、青年若クハ壯年ノ洋行者ニシテ夭折スル者ガ少ナクナリト云フコトデアリマス、其原因等モ承リタイノデアリマス、尙ホ一二御聽キタイ點ガアリマス、複雑ニナリマスルカラ是デケテ……

○國務大臣(中橋徳五郎君) 此計畫ニ付テ大體御賛同ノヤウニ伺ヒマシタガ、若シ十分注意ノアル計畫ナラバト云フコトデアリマス、出來ルダケ注意ヲ致シ、調査ヲシテヤテ居ル積リデアリマス、御尋ニ對シテハ出來ルダケ腹藏ナク申上ゲタイと思ヒマス、又御注意ノ點ヲ補充スベキ事ガアレバ補充致スコトニ致シマス、此私學ノ利用獎勵ノ事ニ付テ御尋デアリマス、是ハ先程申上ゲマシタ通り、中學卒業ノ學生ヲ收容スル私學ト云フモノガ、ザット六十四校ニナッテ居リマス、此中デ法學ニ關係シタモノガ十校アリマス、ソレカラ物理、農科、醫科、藥學科、色々ノモノガアリマス、一番數ノ多イハ宗教ニ關係シタ學校デアリマス、此六十四校ニハ彼此七千人餘リノ者ヲ毎年收容シ來ッノデアリマス、所ガ此私學ハ私學ノ目的ヲ持ッテ居リマス、此目

的ハ十分達シテ貴ヒタイト考ヘテ居リマス、實ハ益、收容力ノ増加スルコトヲ希望スルノデアリマス、所ガ其志望カラ見マスルト、今ノ所デハ私學ノ希望者ニハ數ニ於テ限リガアリマシテ、大正六年度ハ一万四千五百、其中デ半分ヲ採ッタト云フ狀況デアリマス、是ニハ種々原因モアリマセウガ、主ナル點ハ設備ガ十分ニナッテ居ラヌモノ一ツデアリマス、之ヲ充スニハ矢張方法ヲ變ヘナケレバナラヌと思ヒマス、ソレニ大體志望者ガ比較的ニ少ナイノデアリマス、今日官立、公立ノ學校ニナリマス、非常ニ志望者ガ多ク、殆ド五倍以上ニモナッテ居リマス、先ヅ書生ノ今日苦シデ居ル、希望シテ居ル點ニ向ッテ途ヲ開クト云フコトガ、人材ノ供給、人材ノ養成ト云フ事ニ付テ必要タラウト云フ所カラヤッタノデアリマス、ソコデ私學ノ方ニ便利ヲ與ヘ、出來ルダケ手續ヲ簡便ニシテ行キタイト云フ所カラ、出來ルダケ手續ヲ省クヤウニシテヤッテ居リマス、是ハ前ノ内閣時代ノ繼續ノ仕事ニナッテ居ルモノモアリマス、又教育調査會等ニ於テ御調査ニナタ方針モアルヤウナ譯デアリマス、大體ハソレニ則ッテ昨年ノ學令モ出タ譯デアリマス、私共ハ必シモ其全部ニ賛成スルト云フコトハ申上ゲルコトハ躊躇致シマス、大體ハ宜シウゴザイマスケレドモ……其様ナコトニ付テ、世間ハ私學ヲ壓迫スル、私學ノ獎勵ガ足ラヌデハナイイカト云フ話モアリマス、デ、私共モサウ云フ點ガ中ニアルカモ知レヌト云フコトハ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ今漸ク發布ニナタモノデアリマス、先ヅ是デ實施シテ見ナイト、直ニ之ニ多少ノ修正ヲ要スルト云フコトハ穩當デナラウト、或ハ是ガ良イカモ知レヌト云フ譯デ、先ヅ一二年ハ是デヤッテ見タラドウカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、此點ナドハ擴張案ト同時ニナリマシタカラ、私學壓迫ト云フ御懸念ガ起ッタノデアラウト思ヒマス、併シ屢、申シマスル如ク、ドウカ良イ方法ガアレバ私學ノ獎勵モ致シタイと思フ、政府デハマダ其邊ニ手ヲ著ケマセヌガ、宮内省ノ方カラ幸ニ此私學ニ向ッテ基金マデ御下賜ニナッテ居ルモノガ、澤山アルヤウナ譯デアリマス、當局トシテハ私學ヲ十分ニ利用シタイ、又獎勵モ十分ニシタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ次ニ學校ノ設置ノ場所、簡單ニ總メテ申シマセバ、斯ウ云フ御趣意タラウト思ヒマス、必要ナ場所ニ成ベク集メタ方宜イカ、或ハ全國ニ分布シタガ宜イカト云フコトニ付テ、當局ノ案ハ分布主義ニナッテ居ルガ、其點ハドウカト云フ御尋ト思ヒマス、是ハ一利一害ガアルコトハ當然タラウト思ヒマス、直チニ設立シ、ソレヲ直チニ利用シ、又教員ノ住居待遇等ニ付テハ大都會ニ集中スル方ガ易イノデス、ケレドモ大體ノ根本主義ガ、ドウカシテ日本ノ全國一體ニ知識ノ向上ヲ圖リタイ、又學生モ成ベク其土地ニ居ル者ハ、其土地デ收容シテ、其

土地デ仕事ヲスルト云フ方針ヲ立テル方ガ、日本ノ文化ノ發展ノ爲メニ宜クハナイイカト云フ考ヲ以テ、教員ノ供給其他ニ付テハ多少ノ不便ガアッテモ廣ク分布シタイ、九州ノ末、青森北海道カラモ總テ東京ニ學生ガ集中スルト云フノハ、如何ナモノデアラウカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレデ成ベク全體ニヤリタイト云フ計畫ニ致シタイデアリマス、ソレカラ御下賜金ノ御話ガアリマス、是ハ此計畫ニ向ッテ出タモノデアリマス、此計畫ノ資源トスルト云フコトニ御考ヲ願ヒタイ、ソレカラ維持費ノコト、此計畫ガ出來ルニ從ッテ經常費ノ支出ヲシナケレバナリマセヌ、是ハ其曉キニナリマシテ毎年度ノ文部省所轄ノ經常費ニ、是ガ上ッテ來ル譯デアリマス、ソレヲ御參考ノ爲ニ申上ゲマス、大正九年度ニ於テ八萬圓、十年度ハ十九萬餘圓、十一年度ハ十六萬、ソレカラ百九十九萬、三百萬、四百萬、四百四十萬、完成ノ十六年ニ至リマシテハ四百六十萬圓許リノ經常費ヲ見込デ居リマス、是ハ學校ガ出來ルニ從ッテソレガ殖エテ來マス、是デケレモノハ政府トシテ負擔スル見込デゴザイマス、ソレカラ教員ノ供給デアリマス、是モ段々御心配ヲ掛ケマシテ誠ニ相濟ミマセヌ、我國ニ於テ是程多數ノ高等教員ヲ養成スルコトハ、初デマアリマス、私共大丈夫ト云フ考デ進ムノデアリマスケレドモ、將來ノコトデアリマスカラ、大丈夫ト云フコトヲ申上ゲルヨリ外途ガナラウト思ヒマス、唯物價騰貴、生活費ノ向上シタル時ニ於テ、是デケレ金デハ如何カト云フ御懸念ガアリマス、其點ハ御心配御無用ト考ヘテ居リマス、ナゼカト云フト今日モ既ニ昨年十校、ソレカラ本年ノ總豫算ニ四校、其他既設ノ三十校ニ對スル一部ノ教員ノ養成等ヲ計畫シテ居ル、大學ニモ教育科ト云フモノヲ拵ヘ、段々此講座ヲ殖ヤシテ設備ヲ殖ヤシテ居リマス、今日マデノ給費生ハ一人當リ十五圓カ二十圓給シテ居タ、多クハ十五圓デアッテ、ソレヲ此度ノ計畫デハ大學ノ在學生ニハ平均三十圓、一箇年三百六十圓ヲ支給スル豫定デゴザイマス、ソレカラ大學院ニ居ル者ニ對シテハ月七十圓、即チ一箇年八百四十圓ヲ支給スル積リデアリマスカラ、不足ハアルマイト思ヒマス、恐ラク大學院ノ方ナドハ是デテ要ルマイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、計畫ガ大體少シ太ウゴザイマス、十分ナモノヲ見積ッテ居リマス、其時ニナッテ金カ足ラヌト云フコトニナッテハ困ルカラ……ソレカラ海外ノ留學生モ金額ガ上ッテ居リマス、豫定ハ平均二箇年デ九千圓、一箇年四千圓餘リト云フコトニナリマス、先ヅ學生——學生ト云フモノ、上等ノ學生デスガ、既ニ教官ニナッテ居ル者モ出テ來ル譯デアリマス、先ヅ四千圓一箇年ニアレバ、旅ヲシテ見物ヲシテ歩ク譯デアリマセヌカラ是デ往キハセヌカ、近來ハ講和時期ニナリマシタカラ、段々物價モ

下ッテ來マシ、外國ノ如キハドウナルカ知レマセヌガ、物價
ガ騰ルモノトハ考ヘマセヌ、必ズ下ル、日本内地ナドハ無論
ト云フ考ヲ持テ居リマス、唯全體ノ數ガ太ウゴザイマス
ラ、大學院ノ在學生ハ豫定ガ最高八十人、大學生ガ三百
二十人、海外ノ留學生ガ三百餘——四百人ト云フヤウナ
トニナッテ居リマスカラ、餘程是ハ困難ナ事ダラウト思ヒマ
ス、是程ノ計畫ヲスルニハ多少ノ困難ニハ勝タレバナラヌ
云フ考デアッテ、當局ニハ成算ガアル見込デアリマス、又教員
モ是ダケデハ足りマセヌ、恐ラクハ六年先キニハ千二百人
モ要リマセウガ、ソレハ多ク講師助教代行キマス、其中二
段々各種ノ學校ノ進ミマス結果、毎年卒業スル學生モ段々
進ンデ行クコトナリマス、大正六七年ノ如ク戰時中ノ財
界ノ勃興ト云フヤウナコトハ當分ハ無カラウト思ヒマス、今
日モ既ニ從前ノ各種ノ學校カラ教官ナドモ跡戻リヲ初メツ
ツアルデアリマスカラ、今年ハ各種ノ事業モ縮小シマシテ、
餘程變動スルト思ヒマス、其等ノ人ヲ收容スルコトモ出來
マスカラ、大學ニシテモ各種ノ專門學校ニシテモ、毎年卒業
スル數ハ近來ハ非常ノ數ニナッテ居リマス、全體デハ何千
ト云フデアリマセウ、此割合カラ見テモ相當ナル結果ヲ結
ブコトガ出來ヤセヌカト云フ考ヲ持ッテデアリマス、ソレカラ
尙ホ教育ノ事ニ付テ、洋行ヲシテ歸テ來ル所ノ者ハドウス
ルカト云フコトデアリマスガ、是ハ約束ヲシテデアリマスカラ、從
來ハ此約束ニ背クト云フヤウナコトハ致シマセヌ、極ク必要
ナル事ニ付テ歸テ來タ人デ、或ル事業ヲ始メルヤウナ者モ
無イノデアリマセヌガ、今後ハ事業界モ平和ニ復シテ來マ
スカラ——衰頹デハナク平穩ニ復シマシレバ、今後ニ於テハ
餘リ亂雜ニナルヤウナコトハ無カラウト云フ見込ヲ持ッテ居
リマス

○横田孝史君 御答辯ノ中ニハ直チニ首肯スベキ點モア
リ、或ハ多少ノ疑ヲ存スルモノモアリマスガ、議論ノ場合デア
リマセヌカラソレハ止メルコトニ致シマスガ、唯私共ノ質問
ガ不徹底デアッタ爲メニ、御疑ガアルノカモ知レマセヌカラ、其
一二ニ付テ申シマス、分布主義ヲ悉ク都會集中主義ニ
御改メニナッテ、如何ナル縣ニハ如何ナル學校ヲ置カナレ
バナラヌト云フヤウナコトニハ依ラズシテ、例ヘバ實業學校ノ
如キハ最前モ例ヲ以テ申シマシタ如ク、分布主義ニ手心ヲ
御加ヘニナッテハドウデアラウカト云フコトヲ伺ッテデアリマ
ス、ソレカラ最モ遺憾ニ思ヒマスノハ御下賜金ノ點デアリマ
ス、如何ニモ此御下賜金ニ付テハ高級ノ學校ノ教育ノ爲メ
ニ使ハナケレバナラヌト云フデアリマスガ、私共ノ考デハ、
教育ノ普及、教育ノ増進ノ上ニ厚キ思召ガアッタノデアアル
マイカト考ヘラル、ノデアリマス、日本人ノ國民性トシテ、金
額ノ如何ニ拘ラズ、御下賜金等ニ付キマシテハ國民性トシ

テ有難ク思ハル、ノデアリマス、隨テ君德ヲ遍ネク及ボスト
云フ上カラモ、高等學校増設ニ許リ使ハル、ト云フコトハ、
ドウシタモノデアラウカト云フ、此意味ニ於テ御尋ヲ致シタ
ノデアリマスガ、是以上ハ既ニ確定ヲシテ居ルコトデアリマ
スカラ、議論ヲ避ケルコト云フ意味ニ於テ、是以上御尋ハ致
シマセヌ、其所デアリテ伺フ意味ニ於テ、大學ノ内容改善
デアリマス、今回ノ此案ハ徹頭徹尾高等學校ノ新設擴張
ノ爲メデ、大學ノ爲メニ金ヲ使フ割合ガ少ナリ、高等學校
ト云フ如ク二局限セラレテ居リハセヌカト云フ疑ガアリマス
申スマデモナク日本デ最モ現在ノ教育界デ遺憾ニ思ヒマス
ノハ、學術ノ普及ト同時ニ、此戰後ニ處スルノ日本トシテ
ハ、今少シ學界ノ進歩ヲ圖ラナケレバナラヌト思ハレトシ
ドモ、此大學ノ改善ト云フコトニ付テハ、何等カ此場合ニ
御考ガ無カッタカト思ハレノデアリマス、例ヘバ強テ論ズレ
バ大學ノ先生ニモ論及スルヤウニナリマシテモ相濟マセヌ
ガ、教授ノ一端カラ申シテモ、日本デハ殆ト一定ノ講座ヲ
拵ヘテアッテ、其講義ヲ聽カント欲スル所ノ生徒ハ、自己ノ
信ズル所ノ先生ノ講義ヲ聽クコト云フ、斯ウ云フ意味ノ下ニ
切磋練磨ノ效ガ舉ゲテ來ルモノデアルト云フヤウニ聞イテ居
リマスガ、日本ノ講座ハサウ云フ風ニナッテ居リマセヌ、嘗ニ
講座ノミナラズ、今月六日付ノ勅令デ以テ大學醫科ニ關
スル事ガ出テ居リマスガ、之ヲ通覽致シマスル上ニ付キマシ
テモ、一向此自分共ノ所期ニ副フタケノ御考ガ果シテ有ッ
ノデアルト云フコトヲ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、自由講
座ト云フコトハ、自分共ガ一例トシテ申シタノデアリマスガ、
折角教育令ヲ改正ナサルナラバ、今少シ今日ノ時世ニ處ス
ルダケノ趣意ノ下ニ、何等カノ御考ガ此間ニ必要デハ無カ
タノデアリマセウカ、一言ニシテ申シマシレバ、斯ノ如キ巨額
ノ金ヲ使ッテ、斯ノ如ク一時的二高等學校ヲ濫設トハ申シ
マセヌガ、此ノ如ク勇氣ヲ以テ御遺リニナルト云フ場合デア
リマスカラ、此大學ニ對シテモ何等カノ考慮ガ無カッタノデ
アリマセウカ、ソレカラ序ニ伺ヒマスガ、先刻樋口君ノ御質
問ノ御答辯ノ中ニ、中學校ノ教科書ノ改善ト云フヤウナコ
トガアリマシタガ、是モ地方々々ニ相當スルト云フ意味カラ
之ヲ改メタイト云フ御話ハ、自分共最モ喜ンデ伺ヒマシタ
ガ、此意味ニ於テ基礎教育ト云フ言葉ハ當テ居リマセヌガ、
最モ此教育ニ重キヲ置キ、且ツ地方ノ情勢ヲ斟酌スルト云
フコトハ必要ト考ヘマス、是ハ現當局者ニ對シテ責メルノデ
ハナクシテ、自分ノ希望トシテ御意見ヲ伺フノデアリマスガ、
日本橋ノ真中モ田舎ノ山奥モ、是ハ或程度マデハ止ムヲ得
マセヌガ、或程度マデハ土地ノ情勢ニ應ジテ教授ヲ爲スベ
キ必要ガアリハシマイカト云フコトハ、最前ノ教科書云々ト
云フコトニ付テ此希望ヲ申シテ見タイノデアリマス、ソレカラ

今一ツハ今回勅令デ出マシタ教育令ノ中デ講座ノ問題デ
アリマス、試ニ私ガ東京、京都、東北、北海道ノ比較表ヲ
作シテ見マス——今咄嗟ノ間ニ作シテ見タノデアリマスガ、
此醫科ト云フモノハ五大學中デ唯北海道デ未設デア
ル、教育令ノ末文ニ依ッテ見マスルト、既ニ御決定ニナッテ間
モナク新設サレル、斯ウナッテ居リマス、果シテ然ラバ大學
デ汎ク行届イテ居ルノハ醫科デアリマス、世人動モスレバ曰
ク、日本ノ將來日本ノ現在ハ工業デアアル、是ニ付テ僅ニ三
大學ニ止ッテ居ル、世人曰ク日本ハ法治國デアアル、同時ニ
官吏ノ養成政治家ノ養成デアアルカモ知レマセヌガ、此法治
國デアアルト誇稱スル日本ノ五大學中ニ、法科ハ僅ニ二學校デ
アリマス、是等ハ一ノ缺點デアリカ、之ヲ私共疑ハザルヲ得
ナイノデアリマス、單リ醫科ノミニ對シテハ、各學校ハ之ヲ
設置シナケレバナラヌ、悉ク設置ニ反對スルノデアリマセヌ、
設置ニ反對スルノデアリマセヌガ、ドウモ不權衡ノ點ニ於
テ疑ヲ挾マザルヲ得ナイノデアリマスカラ、ドウカ其點ハ誤解
ノ無イヤウニ御聽取ヲ願ヒマス、此五大學デ普及シテ居ル
モノハ、單ニ醫科ノミデアアル、加フルニ今回ノ參考表ニ依ッ
テ見マスルト、醫科ノ昇格ト申スベキデアリマセウ、第二ニ醫
科大學五校、或ハ外レテ居ルカ知レマセヌガ、若シ是ガ昇
格ナリトセバ、醫學專門學校ノ昇格デアレバ、當局ノ方針
トシテ何ガ故ニ醫科ノミニ重キヲ措イテ、工業立國ト稱スル
モノニ對シテ考慮ガ及バナインデアリマスガ、此點ヲ吾輩疑
ハザルヲ得ナイ、且ツ遺憾ニ思フノデアリマス、ソレカラ今一
ツ序ナガラ申シマスガ、醫學專科ノ昇格ノ必要ガアレバ、是ト
同等若クハソレ以上ノ實力アル學校ヲ如何ニスルカ、例ヲ
ハ順應主義デアルト共ニ、又世間デ評スル官學萬能主義ト
云フ御意見ノ下ニ、學制ヲ御立テニナッテ居ル嫌ガアリハス
マイカ、ドウデアアルカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリ
マス、ソレカラ今一ツハ醫科教育ニ付テ醫學デアリマス、藥
學ハ是ハ言フマデモナク單科大學トスベキ性質ノモノデア
ル、今日程ニ總テノ物ガ進ンデ居ルニ拘ハラズ、單ニ醫科ノ
結束ニ持ッテ行ッテ、講座ノ分量カラ言ヘバ東京醫科デ二十
五講座中、藥學ハ僅ニ一講座ニ止ッテ居ル、而モソレハ齒
科ノ次デアアル、況ヤ京都ノ如キ其他ニハ少シモ置カナイ、單
科大學ト認ムベキ程ノ藥學ノ教程ニ對シテ、何等ノ施設ト
シテ御考ヲ發見スルコトガ出來ナイノハ、頗ル遺憾ト言ハザ
ルヲ得ナイノデアリマス、是ハ單ニ議論ノ上デナイ事實ノ上
デアリマス、過去數年間ニ所謂時局中困ッタルハ鐵其他ノ
物デアリマスガ、緊切ニ國民ノ困ッタルハ藥品ノ缺乏、或ハ
工業藥品、殊ニ醫療ニ使用スル藥品ノ如キハ、時局前ノ市
價ニ對シテ何十倍ト云フコトニナッテ居ル、斯ウ云フ缺點ガ

アルニ拘ハラズ、然モ今回斯ル勇氣アル案ヲ御提出ニナリ
ニ拘ハラズ、事ノ之ニ及バザルヲ私共甚ダ遺憾ニ思フノデア
リマス、併シ用意周到ナル大臣トシマシテハ、無論之ニ付テ
御考慮ノアルコトデアラウト思ヒマスガ、尙ホ今一ツ後ノ質
問者ノ御便宜ヲ考ヘマスカラ、序ニ伺フテ置キマスガ、最前
樋口君ノ御質問ニ對シテノ御答ノ中ニ、會テ議會ガ満場
一致各派同一ノ觀念ノ下ニ提出シマシタル例ノ義務教育
國庫負擔デアリマス、此事ハ大臣ハ當時委員長トシテ席ニ
臨マレタコトデアリマスカラ、此事情此事實ハ親ク御承知ノ
コト、思ヒマスガ、ソレニモ拘ハラズ先刻ノ御答ニ依ルト、マ
ダ其事ニ付テハ疑問デアアル、殆ド可否ノ何レトモニ付テ
所見ハ定テ居ラザルカノ如キ意味合ニ吾々ハ伺フノデア
リマス、若シ私ノ伺ヒ間違デアレバ結構デアリマスガ、文部
大臣ハ此問題ニ付テ當局大臣トシテ考ヘ中デアアル、可否ノ
所見ハ未ダシデアルト云フヤウナコトデアリマスレバ、吾輩
此一點ニ付テモ亦頗ル疑ナキ能ハヌノデアリマス

○國務大臣(中橋徳五郎君) 澤山ノ御質問デアリマスカ
ラ落スカモ知レマセヌガ、落シマシタル後ニ御注意ヲ願ヒマ
ス、大學ノ改善ニ付テ考慮ヲ致シテ居ルカドウカト云フ御
話デアリマスガ、是ハ斯ウ云フヤウニ考ヘテ見タノデアリマス、
實ハ此方ハ一纏メニシテ、中等學校ヲ出タルモノノ收容力
ト云フコトヲ主眼トシマシテ、ソレヨリシテ總テ割リ出シ計
畫ガ、即チ此擴張案ニナッテ居リマス、之ヲ調べ時ニ今御
話ニナリマシタル大學ノ改善ト云フコトモ考ヘマシテ、主トシ
テ研究室ノ設備、研究ノ獎勵ト云フコトニ付テ調査シテ見
タノデアリマス、然ル所是ハ暇ガ要リマシテ中ノ容易ニ出來
マセヌ、餘程面倒ナモノデアリマス、極メテ荒ツボイ豫算ヲ主
任ノ人ガ致シマシテ、私ノ手許ニ出シマシタルレドモ、見マシ
テモサッパリ私ハ感服シナカッタ、ヤル以上ハ餘程調査ヲシテ
十分ナルモノニシナイト、矢張金ヲ濫費スルヤウナコトニナリ
ハシナイカ、其金ハ餘程ノ高デ、千萬圓近イモノデアリマシタ
ガ、是モ十分調査シナイト手ガ著カナイ、一面ハドウカシテ
日本ノ此諸大學ノ研究ト云フモノヲ、中ニハ餘程進ンダモ
ノモアリマスレドモ、大體ノ研究ト云フモノニ付テノ設備
ガ極メテ不完全デ外國ノ金ノアル大學ニ比ベマスト、此點デ
ハ殆ド比較ニナラナイノデアアル、洵ニ殘念デアアル、是ハ日本ノ
教育ノ大缺點デアリマセウ、故ニ大シタ發明ガ出來ズ、發明
ト言ハナクテモ進歩改良ト云フヤウナコトモ出來ナイ譯デア
ル、幸ニ此五六年頻リニ研究ノ論ガ起ッテ、「ロクフエーラ
ー」ノ研究所ト云フモノヲ拵ヘタイト云フ考デ、理化學研究
所モ前々内閣ノ計畫デ今著手サレテ居リマス、各大學ニモ
ドウシテモ此研究ヲ——此試驗ヲドウシテモヤラセナイトイ
カヌト云フコトハ皆同論デアアル、幸ニ此頃有名ニナリマシ

タ——殆ド世界的ニ有名ニナリツ、アルノデアリマスガ、東
北大學ノ本多博士ガ鐵ト云フヨリハ寧ロ鋼——鋼ノ研究、
鋼ノ合金研究ヲ始メテ餘程進歩シテ、益、ソレヲ研究サレテ
居ルヤウナ譯デアリマスガ、是ハ誰レノ力ニ依ッテヤカト云
フト、政府ノ力ハ洵ニ微々タルモノデアアル、大阪ノ住友君ノ力
ニ依ッテ出來タノデアリマス、既ニ餘程ノ金ヲ投ジテ居リマス、
三四十萬圓以上ト云フコトニナッテ居リマス、ソレデモ足リ
マセヌデ、政府デハ今回ノ擴張デ矢張其方ニモ金ヲ入レマ
スガ、住友君モ亦年々數萬ノ金ヲ其所ニ寄附シテ居ラレ
ト云フヤウナ工合デ、中ニ金ガ要ル設備費モ要レバ研究費
モ要ル、是ハ併シ是非シナケレバナラヌト云フ考ヲ——當局
ハ今ノ御尋ノ御方ヨリハ事ニ依ルト、ヨリ以上ノ必要ヲ感
ジテ居ルノデアリマスガ、之ヲヤルニハ餘程金ガ要リマス、五
ツノ大學ニヤルトスレバ——ヤルニハ國庫ノ力ヲ計ッテ一部
ヨリスル譯ニイキマス、其調査ハ次第ニ必要ニナル積リ
デアリマス、併シ金ノ要ルコトデアリマスカラ、果シテ何時實
行ガ出來ルカト云フ豫想ヲ持タマセヌ、併シ今日ハ調査ダ
ケハシテ見タイ、何處ノ大學ニ幾ラ金ヲ掛ケタラ宜イカ、調
ベテ見タイ、主トシテ金ガ掛ルノ工科ト理科大學——法科
ノ如キモ研究室ガ欲シイト云フコトデアリマスガ、是モ是非
相當ナ事ヲシナケレバナリマセヌ、ソレデ大學ノ學生ハ詰リ此
研究ト云フコトニ主トシテ集ルダラウト思フノデアリマス、ソ
レハ此度ノ計畫ニハ殆ド入ッテ居ナイト御考下サッデ宜ジイ、
是ハ別問題ト致ス考デアリマス、ソレカラ配置等ニ付テ御
話デアリマシタガ、是ハ御覽下サレマスルト、相當ニヤッテ居
リマス、積リデアリマス、ソレハ參考書ノ十五頁ニアリマスガ、
既設學校擴張、此處ニモ既ニ既設ノ大學ヲ六ツ改良スル
コトニナッテ居リマス、是デ相當ニ金ヲ見込ンデ居リマス、即チ
京都帝國大學デハ法學部ヲ擴張シマス、是ハ餘計金ガ要
リマセヌ、人ハ相當收容スル力ガアル、東北帝國大學ノ工
學部、東京ノ理學部、京都ノ理學部、東北ノ理學部、東京
ノ農學部、是ガ相等ニ收容力ヲ矢張増スノデアリマス、此
中ニハ醫學部ハ一ツモ入ッテ居リマセヌ、唯、茲ニ申上ッテ
置キマスノハ北海道ニ農科大學ガ今在リマスガ、之ヲ擴張
致シマシテ醫科大學ヲ増設致シマス、是ハ唯今著手申上ッ
リマシタ、建築ニハマダ掛リマセヌガ、實行スル計畫ガ進行
中デアリマス、ソレデケデ醫學部ノ擴張ハ既設ノモノニ對シ
テハ今回ハ致シテ居リマセヌ、其代リ今ノ醫學專門學
校ヲ五ツ昇格スル、斯ウ云フ計畫ニナッテ、收容力ニ相應ス
ルヤウニナッテ居リマスカラ、サウ云フヤウニ御承知ヲ願ヒマ
ス、是ガ既設大學部ノ擴張、ソレカラ新設ガ此處ニマダア
ル、新設ハ既設ノ大學ニ對シテ四ツ、即チ法學部二學、

是ハ九州ノ大學ニ法學部ヲ今度増置シマス、ソレカラ東北
大學ニ増置シマス、是デ一ツ——札幌ダケハマダ其時機ニ達
セヌト思ヒマスカラ、今回ハ置キマセヌ、ソレカラ工學部ヲ一
ツ、是ハ北海道ノ大學ニ置キマス、本年ヨリ著手ヲ致シタイ
ト思ッテ居ルヤウナ譯デアリマス、是ハ工學部デアリマスガ、
醫ニ本科ヲ増置致シマスルダケデナシニ、其本科ノ下ニ北
海道ノ事デアリマスカラ豫科ヲ置キマシタ、豫科ト云フノハ
一ノ高等學校ガ其下ニ出來ル譯ニナリマス、ザウシテ其卒業
シタ者ハ本科ニ收容スル、斯ウ云フ計畫ニナッテ居リマス、此
處ニ二ツアル譯ニナッテ居リマス、ソレカラ京都大學ノ方ニ
農科、是モドウモ向フノ方ニ農科ノ志望者ガ段々増シテ來
マスカラ、相當ニ高等ナモノヲ彼ノ方面ニ一ツ配置シナケレ
バナラヌト云フ考カラシテ、京都大學ニ農科ヲ増設致シマス、
斯ウ云フ計畫ニナッテ居リマス、既設大學ニ向ッテ工醫
科ヲ除イテハ、總テ餘程ノ擴張ニナル考デアリマス、新設ノ
モノヲ起スト云フコトノ計畫ニナッテ居リマスカラ、左様御承
知ヲ願ヒタイト思ヒマス、出來ルダケ從來ノモノヲ利用ノ出
來ルモノハ致シタイト云フ考デ、醫科ダケニ力ヲ用ヒタ譯デ
アリマセヌ、皆等分ニ行ッテ居ル、多少ノ取除ケハアリマス、
又此工科ノ如キハ、此豫算ニハ收容力ダケニ付テハ經費ヲ
見積リマシタレドモ、昨年既ニ工科ニ向ッテ先程御語ノア
リマシタル通り、本年ノ總豫算ニ於キマシテモ、金額デ云ヒ
マスルト、繼續費トシテ三百萬圓カラモノガ入ッテ居ルノデ
アリマス、ソレヲ割増シテ本年度ニ出テ居リマスモノノ二、百
萬圓足ラズニナッテ居リマス、是ハ主トシテ工科大學ノ擴張
ノ方ニ入ッテ居ル譯デアリマス、醫科ハ今年ハ入レテアリマ
ス、ソレカラ其次ニ小學教育ノ畫一ト云フコトニ付テハ、總
テ御同感デアリマス、是ハ皆様モ御同感デアアルノデアラウト
思フ、ソレハ教育會議デモ中ニ論ガ八釜數カッタサウデアリマ
スルト、中ニ此點ニ付テハ注意ヲサレテ、ドウシテモ畫一主
義ヲ矯メテ地方ノ狀況ニ應ジテ教授要目ノ取捨ヲスル、斯
ノ如ク取捨ヲ彼此シナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、
其趣意ニ基キマシテ、今本旨ニ於テ教授要目ノ修正ヲシテ
居リマス、是ハ中學教育ニ對シテモ同様ニ、一諸ニヤッテ居
譯デアリマス、先キニ中學ダゲニ付テ申シマシタヤウニ御
聽取リ下スツタノハ、私ノ言葉ハ足りマセヌデシタ、ソレカラ時
間モ多少減ジタイ、修身トカ何トカ云フヤウナモノハ、多少
由科目ニシテ、其土地デヤラヌデモ宜シイ、其生徒ノ好キナ
通リニスルト云フヤウナコトニシナケレバ、時間ノ節約ガ出
來マセヌカラ、一週間ノ中ニ何時間カ餘リ兒童ヲ苦メヌヤ
ウニ、地方ノ事情ニ應ジ、發育ヲ助ケテ行クト云フヤウニシ

タイ考デ、今ヤッテ居リマス、是ハ四月ニ入ルト發布スルカモ知レマセヌ、改良ヲ頻リニ調査ヲシテ居リマス、ソレカラ大學ノ學科ノ事ニ付テモ御話ガアリマシタガ、是ハ昨年ノ暮ニ發布ニナリマシタ大學令ニ依リマス、今後ハ今御話アッタヤウニ自由講ト云フカ知ラヌガ、ソコマデ行クカ行カヌカ知リマセヌガ、是ハ又一利一害デアリマス、併シ今斯ウ云フヤウナ事ノ出来ルヤウニナリマスヤウニカメテ居リマス、大學ヲ卒業スル時ハ試験ヲシテ、學年試験ヲ廢スルコトニ進ミツ、アル、其點ハ今後ハ餘程自由ニナッテ來ル、色々經驗ヲスルコトガ出来ル、又ヤッテ見シ自由ニカヌカモ知レマセヌガ、サウ云フ事モ一面ニアリマス、サウ云フ事ヲヤッテ見ル積リデアリマス、ソレカラ愛知ノ學校ノ御話デゴザイマシタガ、是ハ先キニ御話ノゴザイマシタ通り、少シ私共ノ考ヘテ居ルノ御趣意ガ異フ、私立ナリ公立ナリ程度ノ高イモノハ官立ニスルト云フ考ハアリマセヌ、公立ハ公立、私立ハ私立デ發達シテ貴ヒタイ、其權衡ハ持ッテ居リマセヌ、ソレカラ國庫ノ補助ニ付テノ御尋デアリマスガ、是ハ私ハ實ハサウ云フ疑問ヲ持ッテ居ル、詰リ財政上ノ問題デアリマシテ、國庫ト各府縣ノ財政ト、町村ノ財政トノ此三段ノ財政ノ處理問題デアラウト私ハ思フノデアリマス、無論精神ニモ關係シマスケレドモ、ドウカシテ之ヲ旨ク各町村モ自治ヲヤッテ居ルノデアリマスカラ、自治ノ精神ノ失セヌヤウニ、獨立自主ノ精神ヲ十分ニ持ッテヤッテ居ル關係カラ、自分ハ自分ノ仕事ヲサセヌケレバ利害ノ觀念ガ薄クナル、或ハ或點ニナルト學校ノ教員ガ委任官ニナッテ、中學教員ガ大變喜ブ、小學ノ教員モ同ジク委任ニシテ吳レト云フ者ガアリマス、先達デ或所デアリマス、小學教員モ偉イ人ニナレバ同ジク偉イノデアリカラ、小學校教員モ勅任ニナルヤウニシテ貴ヒタイト云フ者モアリマシタガ、餘リ地方自治ニ關係ノ御方ガ役人ニナリタガルト云フ氣象ヲ養成スルコトハ如何デアリマセウカ、一方デハ段々政黨政治ニナッテ官權方能ヲ矯メタイ、又集中主義ヲ矯メタイト云フ一方ニ、論モ出來ル譯デアリマスカラ、其等ノ點ニ付テドウカ旨ク全體ガ奮發心ヲ無クナサズニ、一方ハ財政ノ處理ガ出來ルコトガ出來レバ一番良イデアハナイカ、是ニハ今日ノ各階段ノ制度ガ完全デアアルカドウカト云フ疑ヲ持ッテ居リマスカラ、調査ヲ進メタイト云フコトデアリマス、其點ヲ申シタノデアリマス、ドウゾ誤解ノナイヤウニ、昨年ノ御趣意ハ十分ニ判ッテ居リマス、尙ホソレカラ藥學校ノ事ニ付テハ、政府委員カラ御話ヲ申上ゲマス、實況ヲ能ク知ッテ居ル私ハ十分ニ知リマセヌカラ……

○横田孝史君 議論ヲ避クル上ニ於テ此以上ハ申シマセヌ、尙ホ多少疑問ハアリマスカ、後トノ質問者ガ出ヤウト思ヒマスカラ、唯、一言希望ヲ意味シテ疑問ヲ質シテ置キタイ、

私學ニ對シテハ無論好意ヲ持ッテ居ルト同時ニ、其存立ヲ所期シテ居ルト云フ如キ意味ニ、大臣カラノ御答辯デアリマシタガ、私共疑ヒマスノハ、官學デアレ、私學デアレ、大臣ガ既ニ一時ニ文化ヲ進メルト云フ御趣意カラ割出シタト云フナラバ、今少シ私學ニ對シテ御親切ナル御處置ヲ願ヒタイ、斯ウ思フノデアリマスガ、強チ愛知縣ノ醫學學校ノミヲ論ズルノデアリマセヌ、是ハ一例ニ申上ゲタノデアリマス、私共既ニ大阪ノ佐多君ノ醫學學校ノ如キ、昨年デアリマシタカ、大學ニナルコトニナリマシタ、又先刻大臣自ラ御説明ニナリマシタ三田ノ學校、慶應義塾ノ醫科ノ如キ、無論立派デアラウト思ヒマスガ、然ルニ獎學ハ唯、官學ニ限ル、私學ニ及バナイト云フノガ私共ノ誤聞デナケレバ幸デアリマスガ、私ハ非常ニ遺憾ト思ヒマス、學校ノ如キモ矢張私學ヲモ之ヲ獎學シ、例ヘテ見レバ少シ比喩ガ當ラヌカ知リマセヌガ、看板ガ良ケレバ客ガ多イ、是ハ自然ノ人情デアリマス、然ルニ官學ニ限テ獎學ノ運ヲ取り、私學ハ已レハ知ラヌト云フ如キ若シ御趣意デアアルナラバ、學事進歩ヲ期シ、而モ大臣ノ所期セラレル普及主義順應主義カラ考ヘマシテモ、甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、自分共ノ誤解デ無クシテ、果シテ一齊ニ進歩セシムベキ、一齊ニ社會ノ急ニ順應セシムルト云フ如キ事デアリマスレバ、今少シ親切ナル御考ヲ願フデ置キタイ、今回ノ案ノ如キ殆下全國ノ各府縣ニ涉ッテ、新タニ高等學校若クハ專門學校ガ幸ニ出來得ルトシマスレバ、假ニ出來ルトシマスレバ、將來私學ノ維持ハ餘程困難ヲ來シハナイカト思ヒマス、私學ハ何ニ依テ存立スルカ、何ニ依テ發展スルカト云フト、有志ノ寄附デアリマス、此有志ノ寄附ナルモノハ、自然ノ必要ト云フ感シガ薄ラグト同時ニ少クナルノデ、殆下規則ニ依ラズシテ、唯、地方々々ノ寄附ニ成ルト云フ如キ事實ガアリトシマスレバ、私學維持ノ結果ニ於テ此獎學ノヤリ方ニ依ッテ、寄附ノ上ニ一ノ打擊ヲ受ケル、斯ウ云フ事ヲ憂フルノデアリマス、其故ニ等シク國費ヲ費シ、等シク學校ヲ建テルト云フコトニナルト、地方ノ學校公立ト言ハズ、私立ト言ハズ、今ハ唯愛知ノ學校ヲ一例ニ申シタダケデアリマスガ、サウ云フ例ハ或ハ東京ニモ亦現ニ熊本ニモアリマス、醫學學校ヲ私共多過ギルト云フノハ、不權衡ノ上意味ニ於テ爾考ヘルノデアリマス、ドウカ私學ノ現在、私學ノ將來ト云フ事ニ付テ、ドウモ餘リ官學主義ニ御傾キニナッテ居リハシナイカト云フコトハ、聊カ遺憾ニ思フノデアリマス、最前ノ御説明ガ自分ノ頭ニ徹底セズト云フコトデアリマスレバ幸デアリマス、然ラザレバ今少シ親切ナル御答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ便宜上今一ツ御伺シタイ、唯今教育ト云ヘバ學校、學校ト云ヘバ教育、教育ハ學校ノ外ニ出デナイト云フノガ是ガ日本ノ教育界ニ於ケル通弊ト申シテ宜イ

從來ノ實情デアアル、ソレデ學校ヲ離レテ少シク勉強ノ出來ルモノハ何デアアルカト云フト、圖書館デアアル、東京ニハ官立アリ公立アリ私立アリ、之ヲ小ニシテハ各區毎ニ其學校ニ在ルト云フ如キ稍、完備シテ居ル、其他大阪ノ如キ先年富豪住友氏ノ寄附ニ依ッテ一箇出來タ、其他ニモアル、京都ニモ大學所屬ノモノガアル、是ハ一般ノ者ハ容易ニ入レヌガ、翻ッテ地方ノ狀況ヲ觀ル、文部省ニ於テ既ニ御調ニナッテ表ニ依リマス、頗ル不權衡デアアル、或縣ノ如キハ殆下小學ニ至ルマデ此設備ガアル、完全不完全ハ姑ク別問題トシテ、或大都府會、或都市府縣ノ大都府會ノ如キハ、今官公立ヲ通ジテ一箇ノ圖書館モナイ、實ニ一種ノ奇觀デアアル、其他東海道ノ或ル都會ノ如キ、又中國ノ大都府會ノ如キ、殆下此設備ヲ見ナイノデアリマス、是等ハ決シテ現在ノ當局ヲ責メル爲メ申スノデアリマス、是等ハ自分共ハ事ノ序デニ希望ヲ訴ヘテ所見ヲ伺フノデアリマス、而モ吾々ハ圖書館ヲ需要スルト云フコトニ付テ、今日殆下願ラザリシ事實アルコトヲ豫テ深ク遺憾トシテ居タノデアリマス、幸ヒニ教育ニ御熱心ナルトコロノ當局大臣ハ、此圖書館ニ對シ如何ナル御所見ヲ有セラレルヤ否ヤト云フコトヲ伺フデ置キタイ

○國務大臣(中橋德五郎君) 御熱心ノ御尋デ、或ハ私ノ答ガ足ラヌカモ知レマセヌガ、足ラヌ所ハトウカ何度デモ御尋フ願ヒマス、公立學校、官立、私立學校ニ付テイロ、御疑念ノアルハ御尤モノ御話デアアルト思ヒマス、是ニ付テハ私共ノ自分共ノ考ヲ申上ゲマスルト云フト、公立、私立、官立ト云フモノハ對等サレテ行キタイ、出來マスナラバ亞米利加ノ如ク私立ヲ一番ニ多ク一番繁昌サシテ行キタイ、ソレガ最も結構デアリマスガ、是ハ國ノ力ニ依ルモノデアリマスカラ、日本ハ正反對ノ地位ニアルノデアリマス、併シ日露戰役以後、況シテ此度ノ戰爭カラシテ餘程寄附等ノ行為ガ盛ニナッテ來マシテ、今後段々斯ウ云フ情勢ニ變ッテ來ヤウト思フノデアリマス、サウ云フコトハ私モ希望致シマス、ソコデ今日デアリマス公立私立ノ學校ノ處分ハ、ドウモセウト思ヒマスカラ、私ノ考ヲ申シマセウ、希望トシテハドウカ私立ヲ盛ニシタイト云フコトデアリマス、是ハ即チ國民ノ力、主トシテ富豪ノ力ニ俟タナクチャナラス、富ノ蓄積ト云フコトニ俟タナクチャナラスノデアリマス、ソレカラ公立ノ方ハ各府縣ノ資力、自治體ノ資力増進ニ俟タナクチャナラスノデアリマス、中々今日ノ所テハ各府縣ニ於テハ各種ノ學校ガ出來ツ、アリマシテ、大變喜バシイ狀況デアリマス、是ハ成ベク此儘ニ助長スルト云フコトハ、自治體ノ進歩自治體ノ教育ノ爲ニモ宜カラウト思フノデアリマス、是ハ今日モ報告ガ來マシテ、私ノ意見ヲ微シテ來タノデアリマスガ、熊

本ノ私立醫學專門學校ヲ、此度公立ニスルト云フ計畫ヲ樹テ、今相談中ニアルサウデスガ、或點迄ハ纏マツヤウデアリマス、果シテ實現スルカドウカ知レマセヌガ、是モ今回ノ擴張ガ一ツノ動機トナツテ、サウ云フ風ニナツノデアリマス、此公立ガ宜イカ私立法ガ宜イカハ知リマセヌカ、公立ニシテ向上サセタイト云フデアリマス、私立デハ何分ニモ力ガ薄弱デアルカラ、モウ少シ盛シニシタイト云フ希望デアタノデアリマス、ソレデ大阪ノ醫科大學ハ先程モ申シマシタ通り、大阪ハ私共モ永ク住ンデ居リマシテ能ク知テ居リマスガ、大變立派ナモノトナツテ、多分公立ノ單科大學ニナルダラウト豫想シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今カラ十年計リ以前デシタガ、懷德堂紀念會ト云フモノガ寄附ニ依テ出來テ居リマス、吾々モ一部寄附シマシタ、ソレデ大阪ノヤウナ財力ノ集中シテ居ル場所デハ、一ツ大阪自身ガ拵ヘヤウデヤナイカ、大阪自身デ一千万圓トカ云フヤウナ金ヲ出シテ、大學ヲ作ラウデヤナイカト云フ機運ニナルダラウト思ヒマス、彼ノ中井竹山先生ガ幕府時代ニ於テスラ、大阪ダケノ力ニ依テ立派ニヤツテ居リマス、先刻御話ノアツタ佐多博士ナゾハ一生懸命ニヤツテ居リマス、ソレデ政府デハ官立ニスルト云フヨリハ公立ニシテ、模範的ノモノニシタイト云フ考ヲ持テ居リマス、ソレデ公立ハ決シテ官立ニシタイト云フノテハアリマセヌ、若シ大阪府ノ財力ガ窮乏シテ、速モ立チ行カスト云フヤウナコトニデモナリマスレバ、又之ヲ官立ニスル相談モシナクチャナラヌ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持テ居ルノデアリマス、又愛知ノ學校ニシマシテモ今日此擴張案ノ中ニ上セルト云フコトハ、餘程困難ダラウト思ヒマスガ、他日ハ必ズ相當ノ案ガ出ル機會ガアルデセウ、是ハ官立ニスル御相談ヲスルカ、公立デ奮發スルカ、愛知ノヤウナ立派ナ場所デ、人口ガ五十万モアリ、行クハ八十万ニモナラウト云フ所デアリマスカラ、或ハ其中ニ金持モ多數アリマシテ、一ツ私立大學ヲ拵ヘヤウト云フヤウナコトニナルカモ知レマセヌ、殊ニ醫學校ノ方ハ存外收入ガアリマスカラ、佐多博士ナゾハ收入ヲ計ルノガ却テ上手デ、大阪デハ餘程旨クヤツテ居リマス、ソレデ大阪デ金ヲ出セバ單科大學ハ造作モナク出來ヤウト思フノデアリマス、ソレデ大阪醫學校ノ如キモ、寄附高ガ餘程殖エテ來マシテ、五十万ニナラウト云フ風ニナツテ居リマス、私モ頼マレテ其役員ヲ今ニヤツテ居ルヤウナ次第デスガ、時勢ノ進運ニ依ツテ色々ナコトガ起テ來マス、私ハ必ズシモ今日アル所ノ單科大學ヲ、政府ノ大學ニシタイト云フコトヲ決シテ申シマセヌ、マダハ日本デハ大學ガ十ヤニハ要ルデセウ、今日高等ト云フヤウナ名前ノ付イテ居ル大都會ノ學校ト云フモノハ、十年二十年ノ後ニハ、多分單科大學ニ

シナケレバナラヌヤウナ情勢ニナルダラウト思ヒマス、又成ルコトヲ希望致シマス、日本ノ富ガ増シ人文ノ高マルニ伴レテ、大學ヲ増サナクチャナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ圖書館ノコトハ全然御同意デ、文部省デモ時統計ヲ集メテ居リマスガ、數ハ日本中デ中ミアリマシテ、何百ト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、洵ニ貧弱デ一年二百圓、三百圓、五百圓ト云フヤウナ經費デアル爲メ、本モ何モ買ヘハシマセヌ、碌々本モ無イノデアリマス、是ハ富豪ノ寄附等ニ依リ、是非ドウカシナケレバナラヌト云フ考ヲ有シテ居リマス、然ル所先刻東京ニハ立派ナ圖書館ガアルト云フコトデアリマシタガ、是ハ文部省ノ所管シテ居リマスル上野公園ニアル圖書館デ、アレナゾモ數年前ノ計畫ガ漸ク四分ノ一シカ出來テ居ナイト云フ有様デ、敷地ヤ基礎工事モ出來テ居ナイ所モアルノデアリマス、ソレデ毎年豫算ニ組ミマスガ、何時デモ後廻シデ途中中創ラレト云フ風デアリマシテ、地方ニ向テモ是ハ餘程ノ調査ヲシ方法ヲ樹テナイト云フト、日本ノ國力デハ隨分氣永ナ話ニナリハセヌカ、圖書館ハ學校ヨリモ經費ガ餘計要ラヌモノデスカラ、今後ハ富豪ノ寄附等ニ依テ増シテ行キタイト思フノデアリマス、現ニ各地方ノ力デ中ミ公立ノ圖書館ガ出來ツ、アルノデアリマス、必要ニ應ジ財力ノ進ムニ從テ、ソレレド施設ヲ爲シ、當局ニ於テモ何カ補助スルト云フ風ニシテ行キタイト考ヘテ居リマスガ、是ハ餘程前途遠イ話デハナイカト思ヒマス、即チ差當テ小學中學等ニ於テモ、設備スベキコトハ澤山アルノデアリマス、併シ御説ニハ全然同意デアリマス

○横田孝史君 モウ一ツ殘テ居リマス

○政府委員(松浦鎮次郎君) 今回ノ計畫中、藥學校ノ擴張ト云フコトヲ入レナカッタノハ、ドウデアアルカト云フ御質問デアリマシタガ、今回ノ計畫ノ中ニハ藥學專門學校ト云フモノガ一ツ増設致スコトニナツテ居リマス、藥學教育ト云フコトニ付テモ、相當考慮ヲ拂テ居リマス、現在アリマス藥學校ヲ擴張致シマスト云フコトハ、此中ニハ入ッテ居ラヌノデアリマス、藥學教育ノ大切ナ事ハ無論御話ノ通りデアリマシテ、是ガ振興ヲ希望スルコトハ勿論デアリマスガ、唯、此藥學校教育ト云フ事ニ付テハ一ツ少シ考ヘナケレバナラヌ問題モアツタノデゴザイマス、此藥學殊ニ唯今御話ニナリマシタ製藥、藥品工業ト云フヤウナ事ニナリマス、是ハ實ハ今日ニ於テモ、工科大学ノ中ニ應用化學ト云フヤウナモノノ、中デモ、實ハ藥學ノ事ハヤツテ居ルノデアリマス、現ニ日本デ拵ヘマシタ新シイ「サルバルサン」ノ如キハ京都ニゴザイマス大學ニ於テ、理工科大学ノ時代ニ於テ之ヲ造ツタ、其他又農科大學ニ於テ矢張同ジヤウナモノヲ造ツタ例モアリマス、斯ウ云フヤウナ例モアツテ、藥品工業藥品製造ト云

フ事ハ、實ハ必ズシモ藥學科デアルノデナクシテ、他ノ理科大學ニ於テ、又工科大学、農科大学ニ於テモヤリ得ル性質ノモノデアリマス、此藥學ト云フモノモ、單純ナ藥劑師ノ養成ト云フコトハ別デアリマスガ、サウデナク藥品製造ト云フコトニナリマスレバ、工科大学或ハ理科大學ノ一部トスル方ガ宜イデアナイカト云フ論モ立チマスノデサウ云フヤウナ問題モゴザイマスカラ、今回藥學校ノ擴張ハ此計畫ニハ入レテアリマセヌ、併ナガラ一ツノ藥學專門學校ハ、一校ヲ作りマス意味ニ於テ計畫中ニ加ヘタルノデアリマス、大體ソレダケ……

○横田孝史君 凡ソ今御話ニナリマシタ事ハ、私共承知セヌデアナイノデアリマス、極ク簡單ニ申シマス、今ノテハ不十分デアアル、現在デハ僅ニ醫科大學ノ一部デ、現在ノ急ニ應ズルコトハ出來ナイ、此事ハ前モ申シタ如ク、戰時中如何ニ其需給ニ困ツタカ、恰モ戰争ト藥品ニ付テ、所謂苦キ經驗ヲ持テ居ル、苦キ經驗ヲ目前ニ致シマシテ、當局者ハ爾ク今回醫學其他ノ擴張増進ニ御苦心アル場合ニ、何故之ニ及バナカッタカト云フノガ質問ノ要點デアアル、現在ノ實狀ハ能ク承知シテ居リマス、現在ノ實狀デハ到底戰時ノ所謂苦キ經驗ニ徴シテ甚ダ遺憾デアアル、此遺憾デアルト云フ事ガ、今ノ今デアツタニ拘ラズ、今回此舉ニ際シテ何等ノ設備ノ無カッタト云フ事ヲ遺憾トスル、斯ウ云フノデアリマス、是レ以上ハ議論デアリマスカラ申シマセヌガ、唯今ノ御答辯デハ私ノ疑問及私ノ質問ニ添ハナイ、一寸是ダケ申シテ置キマス

○政府委員(松浦鎮次郎君) 別ニ御答スル必要モナイノデアリマスガ、先刻私ガ御答申シマシタノハ、藥學教育ト云フノヲ決シテ考ノ中ニ置カヌト云フ意味デナイ、今回ハ各種ノ應用化學ト云フヤウナモノモ増設スルコトニナリマス、或ハ農科大學アタリニ於ケル、理科大學等ニ於ケル應用化學ト云フヤウナモノハ、皆ナ學科トシテ置クコトニナツテ居リマス、サウ云フ方カラ致シマシテモ、矢張藥學工業ト云フコトニ付テハ、相當研究モ致シ、相當ノ設備モ出來ル意味デアリマシテ、藥學教育ノ事ヲ度外視シテ意味デハゴザイマセヌカラ、ドウゾソレダケ……

○大津淳一郎君 私ハ唯今出席シタノデアリマスガ、是ハ自身モ衆議院ノ係ノ方ヘハ申ス積リデゴザイマスガ、公報ガ參リマセヌ、十二時四十分ニ配達ニナリマシタ、今日ノ十時カラ委員會ガ開カレルノニ、十二時四十分ニ公報ガ來テハ出席ノシヤウガナイ、最早ドウモ午前中ニ終ツタ思ツテ、モウ致方ガナイト思ツテ、自分ハ本部ヘ來マシタ所ガ、今マダヤツテ居ルト云フノデ、ソレカラ出掛ケテ書類モ持タズニ來タト云フヤウナ譯デアリマス、ドウカ其點ハ御承知下サツテ、委員

長カラモ御注意ヲ願ヒマス、質問モ段々致シタク存ジマス
レドモ、是マデノ御質問ニナツ諸君ト重複スルヤウナ事モ
ラウト思ヒマスガ……

○委員長(三土忠造君) 質問ハ先カラ西川君ガ通告シテ
居リマスカラ、開會ノ時分ニ申シテアリマスガ、通告ノ
順ニ依ルヤウナモノデナイケレドモ、既ニ二三通告ガアルカ
ラ、ソレヲ済マシタラ後自由ニ質問スルト云フコトニシテ
アリマス

○大津淳一郎君 私モ其通告者ノ一人トナツテ、其次ノ方
ヘ御加フ願ヒマス

○委員長(三土忠造君) 宜シウゴザイマス、唯今ノ公報ノ
延着ニ付テハ、委員長ニハ責任モアリマセヌガ、能ク注意致
サセマス

○大津淳一郎君 ソンナ爲メニ委員會ガ結了ニナル、ソレ
ガ爲メニ議員ノ責ヲ盡サナイト云フコトニナル、或ハ今日御
決定ニナルト云フ事ナラバ、今一回聞カレタイト云フ意味モ
含マレテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ今此事ヲ申上ゲル必要
ガアラウト思ヒマス

○西川太治郎君 過日本會ニ於テ私ノ質問ニ對シテ大
臣ノ御答ニ、少シ不十分ナ所ガアツタノデアリマス、ソレハ
學校ヲ建テルニ付キマシテハ餘程地方ノ衛生ヲ考ヘテ貫ハ
サケレバナラス、ソレニ付テハ何處ノ方面ノマラリヤ等ハ雜
作モナク退治サレラウト云フ事デゴザイマス、ソレハ至
極結構デゴザイマスガ、先刻カラ承ルト全國ニ高等教育機
關ヲ總テ設ケルト云フコトデアリマス、單ニ一地方ノ問題デ
ナク、全國ニ學校ヲ設ケルト云フコトデアツタナラバ、ドウカ
其地方ノ衛生狀態ヲ能ク御考ニナツテ、ソレカラ又既ニ決
定ニナツテ居ル地方ニ對シテハ、速カニ技師ヲ派遣シテ、サウ
云フ風土病ノアルヤウナ處ハ、其病氣ノ根源ヲ退治ナサル
事ヲ私ハ希望スル、サウ云フ考ガアリヤ否ヤ、ソレカラ又過
日御尋致シマシタ、一寸申上ゲマシタ、地方ノ自治體ガ甚
ダ動搖ヲ來シテ困テ居ルト云フ事ヲ申シタ所ガ、ソレハ御
氣ノ毒デアル、貴方ガ御盡力下サルヤウニト云フヤウナ極メ
テ冷々淡々ナ御話ノヤウデアリマス、是ハ洵ニ遺憾千萬デア
リマス、唯今申上ゲタヤウニ全國ニ斯ウ云フ動搖ガ起リツ、
アル、ソレハ自治ガドウナツテモ、皆其土地ノ人ガ勝手ニ考ヘ
タラ宜イ、勝手ニ心配シタラ宜カラウ、サウ云フ事デハ甚ダ
地方ノ平和ノ上ニモ面白カラザル事デアル、又其目的ヲ達
スルノニ色々ノ障礙ガ來ルト思フノデアリマス、ソレ故ニソ
レガサウ云フヤウナ競争動搖ノ場合ニハ、場所ヲ御内定ガ
アレバ、成ベク速ニ御發表ニナレバサウ云フ競争モ避ケ得ラレ、
隨テ地方自治體ノ動搖ヲ來サヌデ済ムト思フノデアリマス、
現在吾々地方ニ於テハ目下洵ニ遺憾ノ事ガアリマスカラ、

是ハ御注意旁ドウ云フ御考デアルカ伺ヒタイ、尙未過日ノ
御答ヲ十分明カニシテ置イテ下スタナラバ、將來大ニ地方
ノ人モ惡感情ヲ懷カヌヤウニナラウト思ヒマス、ソレカラ一
寸細目ニ互リマステレドモ、此京都大學ノ理學部ノ擴張デ
アリマス、是ニ付テスレテ理學部ニハ臨湖實驗場ト云フモノ
ガ設ケラレテアリマスガ、此臨湖實驗場ニ對シテ此三十萬
圓ノ中何ノ位ノ程度ノ擴張デアリマスガ、モウツ大學ニ附
屬シテ居ル水產學校ガアリマスガ、之ニ對シテ淡水科ヲ設
ケラレテ御考ハナイカドウカ、御承知ノ通り全國ニハ百萬町
歩カラノ淡水湖沼地ガアツテ、其等ノ收穫ガ大正六年度ノ
統計ニ依ルト、七百五十萬圓ニ達シテ居リマス、大正七年
ノ統計ハ委シク分リマセヌガ、物價騰貴等ノ影響デ約一億
萬圓以上ノ收入ガアルト思ヒマス、此一億萬圓カラノ收入
ガアルニ拘ラズ、未ダ此淡水ニ對シテ農商務省モ文部省モ
餘リ重キヲ置カレヌト云フノハ、甚ダ残念デアリマスカラ、此
水產學校ニ對シテ淡水科ヲ設ケラレテ居ルノカ、又將來設
ケラル、ト云フ御考デアアルカドウカ、其邊ニ付テ伺ヒタイ
思ヒマス

○國務大臣(中橋德五郎君) 西川サンニ先日御答申上
ゲタ事ガ、甚ダ言葉ガ足りマセヌデ御不満ト云フコトデア
リマスガ、其點ニ付テハ私カラ御話ヲ申上ゲナケレバナラス
ノデアリマス、是ハ斯ウ云フ事デ、今日各地方ノ當局者ニ御
相談ヲシテ居リマス、各地方デ豫テ學校ノ設立ヲ御希望
ニナリ、色々御話モアリ、或ハ書面モ出テ居リマス、
ニ御審議中デ、本案ハ未ダ通過シテ居ラヌト云フ有様デ、
單純ナル下設議デアツテ、本案ガ通過シタナラバドウカ斯ウ
云フ事ニシタイト云フ手順ノ爲メニ致シテ居ルヤウナ次第
デ、マダ決マツタ事デアリマセヌデ、是ハ申上ゲル迄モナイコ
トデアリマス、隨テ其土地ヘ技師ナドヲ出スト云フコトハ、總
テ差控ヘテ居ル次第デアリマス、先日來段々御請求ノアル
所モアリ速ニ寄越シテ貰ヒタイ、サウシテ豫定デモ宜シイト
云フ話モアリマスガ、ソレハ一切ドウモ見合セタ方ガ宜カラ
ウト思ヒマシテ、残念ナガラ御斷リシテ居リマス、何レ本案
ガ幸ニ可決ニナツテ實行ニナリマス曉ニハ、十分ニ調査致ス
積リデアリマス、ソレカラ土地モ豫定ヲ早クシテ置ケバ、競争
ガナクテ宜カラウト云フコトニ付テハ、私共モ心配シテ居ル
ノデ、成ベクサウ云フヤウニシタイト思フテ居リマスガ、是モ單
ニ下打合セタケデ、縣ノ當局ノ御方ノ御考ニ依ツテハ、初メ
カラ指定シテ宜シイト云フ處モアリマスシ、又成ベクハ少シ
ソレハ見合セテ吳レト云フ所モゴザイマシテ、是ハ土地ノ狀
況ニ依ツテ色々アリマス、或ハ遲レテ競争ガ始マツテ、御迷惑
ヲ掛ケテ相濟マヌ所モアリマス、現ニ福島縣ノ如キ多少行

違ガアツテ、或ハ私共言葉ガ足りナカクカ爲メカ、多少ノ競争
ガ出來タ譯デアリマシタガ、決シテサウ云フ積リデナカク
デス、併シ今日ハ治ツテ喜ンデ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレ
カラ理化學部ノ擴張ニ付テ、何ヲスルカト云フコトハ、是ハ
政府委員ヨリ御返事ヲ申上ゲマス、水產科ノ事モ政府委
員ヨリ申上ゲマスガ、水產學校ノ事ニ付キマシテハ、昨年來
各地ノ有志ノ御方カラモ色々御話ガアリマシテ、私共初メ
テ斯ウ云フモノニ關係シタ者ニハ大變參考ニナリマシタ、併
シ今日ノ實際ノ狀況ハ、是ガ二ツニ分レテ居リマス、即チ文
部省所管ニ於テハ、各大學ニアル所モアリマスシ、ナイ所モ
アリマス、或ハ農科ニ水產科ヲ置イテアル處モアリマスガ、マ
ガ不十分デアリマスデ、追々進展シナケレバナラヌト思フテ居
リマス、又各地ニ水產學校ガアリマスガ、今日ノ所誠ニ其
程度ガ低イノデ、私共満足ハシテ居リマセヌ、ソレデ主タル
モノハ農商務省ニ水產講習所ガアツテ、今日ソレト云フヤ
ウト私共思フテ居リマス、デ此所管ノ事ニ付テモ、農商務省
ニ置クヨリハ、寧ろ文部省ノ所管ニ移シテ立派ナ學校ニシ
タラ宜カラウト思ヒマスガ、經費其他ノ細カイ事モアリマス
ノデ、唯今ノ所私ハソレ迄手ヲ著ケテ居リマセヌ、ソレデ先
ヅ大體ニ於テ唯今有ルモノニ付テ、多少ツ、改善ヲ圖ツテ往
キタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、遺憾ナノハ
他ノ商業工業、農業等ノ如キモノニ比ベルト云フト、入學
ノ志望者ガ極メテ少ナイノデアリマス、マルデ比較ニナラヌ
今日計畫シタ擴張案ヲ割出シタ標準カラ云フト、ドウシテ
モ志望者ガ足ラヌノハ、後廻シニナルト云フヤウナ計畫ニナ
テ居リマスノデ、ソレハ豫メ御承知置テ願ヒマス、併シ決シ
テ水產ヲ疎カニスル譯デアリマセヌ、ドウカモウ少シ志望
者ノ出來ルヤウニ致シタイ、又學校ニ於テモモウ少シ改善ヲ
圖ツテ完備シタイト云フ希望ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、尙
ホ現況ノ委シイコトハ、政府委員ヨリ説明スルコトニ致シ
マス

○政府委員(松浦鎮次郎君) 京都大學ノ理學部ノ擴張
ニ付キマシテ、唯今アリマス臨湖實驗場ノ擴張ニ、ドレダ
ケノ部分ヲ充當スルノデアルカト云フ御尋ノヤウニ承知致
シマシタガ、今回此計畫トシテ理學部ニ擴張スルノハ、物理
化學ト云フ方ノ部分デ、臨湖實驗場ニ直接關係ノアリマス
ノハ、醫學部デアルトカ、或ハ醫學部ノ中デモ主ニ動物植
物ト云フモノニ關係致シマスガ、其動物學、植物學ト云フ方
ノ擴張計畫ヨリ以前ニ、既ニ御協賛ヲ得テ居ル豫算デ擴
張シテ居リマス其方デ、何レ臨湖實驗場ノ方モ、相當ニ擴

張スルコトニナルノデアリマスガ、直接唯今御協賛ヲ願フデ居ル此擴張ニハ關係ハゴザイマセヌ、ソレダケ申上ゲテ置キマス、ソレカラ淡水科ノコトニ付テ御質問ノ趣旨ヲ能ク拜聴致シマセヌデアリマスガ、此水産教育ノ事デアリマスガ、水産教育トシテハ先刻大臣カラ御話ノアツタ如ク、農科大學ノ中ニ水産科ガアリマスガ、文部省ノ直轄トシテハ北海道ノ大學ニ專門學校程度ノ水産部ガアリマス、ソレニ農商務省ノ所管ノ水産講習所ガアリマス、主ニ淡水魚ノ事ニ關シマシテハ、文部省ノ直轄デハ、北海道ノ水産專門部ニ於テモ無論研究シテ居ルノデアリマス、海ノ魚ト同時ニ淡水魚ノ研究モ無論致シマシテ、養魚池ヲ拵ヘテ研究シテ居ルノデアリマス、唯今ノハドウ云フ御趣意デアリマスガ、琵琶湖ノ近所ニ一ツ研究スル學校ヲ置ク……

○西川太治郎君 免ニ琵琶湖ト云ハズ、一億圓ニ近イ淡水魚ノ收穫ガアルノデアリマスガ、ソレニ對シテ各地方ニ相當淡水魚ニ對シテ學校デモ何デモ設ケルノデアリカドウカ、サウ云フ御意見ガアルカドウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(松浦鎮次郎君) 專門部ニ於テハ淡水魚ノ研究モ勿論ヤテ居リマスガ、地方デ經營シテ居リマスル中等程度ノ水産學校等ニ於テモ、多少ヤテハ居リマセウガ、其邊ハマダ十分ニ參テ居ラヌカト思ヒマス、ドチラモ相當獎勵致シマシテ、成ベク淡水魚ノ研究モ振興サセタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○伊東重君 私ハ教官ノ養成ニ就テ御尋シタイト思ヒマスガ、多クノ點ハ先刻横田君ノ質問ニ對スル政府委員ノ御答辯ニ依ッテ了解ヲ得マシタガ、更ニ御尋シテ見タイト思フノハ、政府ハ此教官ノ養成ヲ、大學及ビ大學豫科ノミニ限ラレル御考デアルヤ否ヤ、又ソレダケノ擴張ニ伴フダケノ教員ヲ得ラル、ヤ否ヤ、又此教育ヲ少ナクモ高等學校ニ於ケル教員トシテ、ヨリ多クノ教員ヲ得、又實質ニ於テモ、ヨリ良キ教員ヲ得ルト云フ考ヲ以テ、更ニ此養成ノ範圍ヲ高等師範アタリマデモ擴張スル考デアルヤ否ヤ、此三點ニ付テ伺ヒタイ

○國務大臣(中橋德五郎君) 今伊東サンカラノ御質問ニ御答致シマスガ、教官ノ養成ハ今朝來ノ御質問ニアリマスル通り、此度ハ一時ニ多數ノ者ヲ養成シヤウト云フコトニナツノデアリマスガ、隨分困難ヲ感ズルコトモアラウト思ヒマスガ、餘程苦心ダラウト思ヒマス、此計畫ハ餘リ長タリマスル、急場ノ需要ニ應ズルコトガ出來マセヌカラ、出來ルダケ詰メテ六年ニシタノデアリマス、アレハ實ハ八年ノ計畫ヲシタノデアリマスガ、二年繰上ゲタノデアリマスガ、是ヨリ繰上ゲラレナイノデアリマス、ソコデ養成ノ箇所ハ大學デアルカ、師範學校ニ存スルカト云フノデアリマスガ、是ハ考

慮中デアリマス、ト云フノハ高等師範ニ於テ此專門學校ナリ、大學ノ教官ヲ養成スルコト云フコトハ、教育會議デハ問題ニナツテ居タノデアリマス、私ハ其當時ハ居ナイカラ知ラナカッタノデアリマスガ、是ハ疑問デアリマス、高等師範ト云フモノヲサウ云フ目的ニ使フカ使ハヌカト云フコトハ疑問デアリマス、段々今ノ御話ノヤウナ御希望モアリマスルシ、御尋モアリマスノデ、政府ノ方デハ是ハ調査シヤウト思ッテ居リマス

○大津淳一郎君 質問ハ數アリマスグレドモ、如何デアリマセウ、今日私ハ既ニ申上ゲタ様ナ譯デア案モ持參ヲ致サナイ、無論今日ハ無カラウト實ハ信ジテ、昨日ノ午後四時四十分ニ公報ノ配達ヲ受ケタノデ、電話ヲ衆議院ノ委員課ニ掛ケタ所ガ、委員課ノ電話ガハッキリ聴エナイカラ、シテ駄目デ、全部調べテハ居ルノデアリマスグレドモ、斯ウ云フ譯ニナツテ居リマスガ、今日ハ是デ質問ヲ御打ちリナツテ、又明日ナリ——委員長ノ御都合モアリマセウガ、成ベク明日ナリ御開キヲ願フコトニシタイ、殊ニ教育ノ問題許リデナク國家ノ政務ニモ關スルコトデアリマスガ、此委員室デハ如何ニモ場席ガ狭クテ多數ノ方ガ御在デ、冷靜ニ考ヘテ大事ナ御質問ヲ申シ、又永ルニモ洵ニ混雜致シマスカラ今少シ、廣イ委員室ヲ事務局ノ方ヘ申出デ、御見立ヲ下サイマシテサウシテ更メテ會議ヲ開クコトニ願ヒタイノデアリマスガ、如何デアリマセウカ、私ハソレヲ一ツ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○委員長(三土忠造君) 御諮リシマスガ、御承知ノ通り此法律案ハ豫算ニ關係スル問題デモアリマカラ、貴族院ノ方ニ回付スルノ急ギマスガ、成ベク續行ヲシテ、明日モ正十時カラ續行スルヤウニ致シタイノデアリマスガ、此狹隘ナル部屋デ我慢シテ、他ニ御質問ノ方ガアレバ、大津サンノ御質問ハ保留シテ置イテ、尙ホ未ダ三時デアリマスカラ、少シ時間ガ惜イヤウニ思ハレマスガ、若シ之ニ御異存ガアリマセヌケレバ、モウ少シ御續行ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大津淳一郎君 イヤサウ云フコトナレバ、私ノ質問ハ今日出來ナイ譯デアアリマセヌ、希望ヲ述ベタノデアリマスグレドモ、勿論豫算ニ關係ガアルニ付テ、既ニ豫算委員會ノ方デモ大臣ノ出席ヲ待テ居ラレルコトモ承知シテ居リマスガ、御急ギト云フ事ハ存ジテ居リマス、併ナ知ラ今日モ最早三時十分餘ニナツテ居リマスガ、ソコカラシテ唯今ノヤウナ事ヲ申上ゲタノデアリマスガ、委員長ガ御容レニナラズ御急ギトアレバ致方ハナイ、御質問申上ゲマス、此處ニ參考資料ト云フモノヲ、文部省カラ御出シナリマシテ拜見ヲ致シマスル「惟フニ歐洲列強ハ平和ノ克復ヲ見ルニ至ランカ競フデカヲ教育ノ振興ト産業ノ發達トニ傾注シ國民實力ノ充實ヲ圖リ、國家ノ富強ヲ増進スルニ最善ノ努力ヲ爲ス可

キハ疑ヲ容レザル所」下アリマスガ、御尤モナル事柄ト存ジマス、併ナガラ歐洲列強ノ教育ニカヲ入レルト云フコトハ、高等教育ニカヲ入レテ居ルノデアリマセウカ、初等若クハ中等ノ所謂國民教育ト稱スル多數ノ教育ノ方ニカヲ入レテ居ルノデアリマセウカ、其少數國民タル富豪貴族ノ子弟ヲ養成スル、高等教育機關ニ歐洲列強ハ力ヲ傾注シテ居ルノデアリマセウカ、此點ハ如何デアリマスガ、文部省ガ此大綱ヲ御書キニナルニ付テハ、各國ノ狀態ヲ篤ト御調べニナツタノデアラウト思フ、是カラデナイ、既ニモウ昨年カラ英吉利ナドハ教育ノ發令迄モ見テ居ル事ハ、私ガ申サズトモ無論當局ノ御方ハ御承知ノ事ト思フ、必スシモ外國ヲ手本トシテ、ソレニ模倣シナケレバナラヌト云フノデアリマセヌグレドモ、茲ニ歐洲列強ノ狀況ヲ舉ゲタカラニハ、參考トスベキガ爲メ二十分御調ガアラウト思ヒマスガ、其點ヲ先ヅ御伺シタイト思ヒマス、一切リツ、伺ッタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○國務大臣(中橋德五郎君) 大津サンニ御伺ヒ致シマスガ、歐洲ノ現況ヲ調べテ居ルナラ、話ヲシロト云フ御尋デアリマスガ

○大津淳一郎君 此擴張參考資料ニ、歐洲列強ハ云々ト唯今申上ゲタ通り書イテアリマス、斯様ナ狀態デアルカラ、我國モ戰後ノ教育ニカヲ致シテ云々トアリマス、然ラバ歐洲列強ノ教育擴張ニ比較シテ、此計畫ヲ立テマシタト云フコトハ此文案ニ明カデアリマス、然ラバ歐洲列強ノ教育擴張ニ所ヲ採ッテ、我國ノ高等教育機關ノ擴張ガ必要ダト云フデアルカ、ソレハ之ニ明カデアナイ、歐洲列強ガ高等教育機關ノ方ニカヲ盡シテ居ルト云フコトハ吾々ノ見ル所デハ寡聞ニシテ承知シナイ、併ナガラ一般國民ヲ養成スル方ニ向ッテハ、既ニ英吉利ナドハ昨年カラ發令モ見テ居ル、其他ノ國々モヤッテ居ル、亞米利加ナドハ大分計畫ノアル事ハ寡聞デアリマスグレドモ、切々ニ承ッテ居ルデアリマス、當局タル文部ハ既ニ斯ク歐羅巴諸國ノ狀況ヲ引用シテ、高等教育機關ノ必要ヲ認メタト云フ説明ヲ爲サルカラニハ、彼ノ國々ガ如何ナル計畫ヲ爲シテ居ルカト云フコトハ御承知ニ相違ナイカラソレヲ承リタイ

○國務大臣(中橋德五郎君) 分リマシタ、今ノ大津サンノ御質問ニ御答致シマス、當局ハ斯ウ云フ考ヲ有シテ居リマス、歐洲各國モ戰時中ニ色々不都合ヲ感ジタモノデアラウト思ヒマス、又其國ノ各制度施設ニ付テハ缺點モ非常ニ此度ハ痛切ニ發見シタト云フデ宜イマ、從來發見シテ居ッテモ手ガ著ラケレナカッタノアラウト思ハレマス、ソレニ付テハドウシテモ人間ヲ拵ヘナケレバナラヌ、人材ヲ拵ヘナケレバナラヌ、ソレカラ人間各個ノ能率ヲ増進スル、斯ウ云フ事ニ注意ヲ拂ッテ來タ事デアラウト思フノデアリマス、ソレデ我國ニ於テ

モ同様デアリマシテ、ドウシテモ人間ノ知識ヲ向上シ、人間各個ノ人格頭腦ヲ進メテ、個人ノ能率ヲ進メルト云フコトが極メテ必要デアラウト云フ考ヲ起シテ譯デアリマス、ソレデ今回ノ計畫ハ歐洲ノ計畫ガ或ハ初等ナリ、中等ナリ、或ハ專門ナリ、大學ナリノ教育ニ向テ最モ力ヲ用キテ居ル國ガ多イカラ、ドウシタト云フ考デアリマセヌ、大體ニ於テ教育事業ニ力ヲ盡スト云フコトハ、各國トモ大變注意ヲ拂テ居ル即チ英吉利ノ文部大臣ガ今度補習教育ニ付テ四千萬許リノ金ヲ支出シテ、五時間演說ヲシタト云フノハ皆ソレダラウト思ヒマス、是ハ獨リ英吉利ニ限リマスミト思ヒマス、獨逸トカ露西亞トカハ内亂ヲヤデ居ルカラ是ハ別問題デアリマスガ、我國ニ於テハ段々教育ノ設備ハ進シテ居リマスガ、何レノ點ヲ見マシテモ勿論不十分デアルノデアリマス、何レモマダ満足スベキ程度ニ達シテ居ルト私共ハ考ヘマセヌ、併シ國家ノ力ニモ限リガアリマス、又、各地方ノ財力ニモ限リガアリマス、漸次其力ノ許ス程度ニ於テ其施設ヲスル事ガ必要デアラウト思ヒマス、幸ニ戰爭モ終ラタリマスカラ、國庫ニ餘力ノアル所ヲ以テ、教育事業ノ振興ヲ圖リタイト云フノガ大體ノ趣意デアリマス、俗今日ノ我國ノ教育界ノ現況ヲ見マスト、今朝程モ申上ダタ通り第一番ニ色ニヤルベキ事ガアリマスガ、金ノ要ナリ事ハ若ク調査ヲ進行シテ實行ニ進シテ居ル譯デアリマス、金ノ要ル事ニナリマスレバドウシテモ、緩急ヲ圖ラナケレバナラス、所ガ餘程缺陷ガアリマスカラ金ノ要ル事計リデアル、ソレデ今年計畫致シマシタノハ、第一ニ教官ノ待遇ヲ進メルト云フコトニ於テ考ヲ致シタ譯デアリマス、ソレニ付テハ國庫モ府縣ノ財政モ町村ノ財政モ、相揃デ一結ニナシテ、此場ヲ凌イダラ宜カラウト云フ考ヲ起シマシテ、教員ノ増俸手當ノ増額ヲスル計畫ヲ立テタノデアリマス、是ガ此度ハ一番金額ガ要ル事ダラウト思ヒテ居リマス、總豫算ニアルモノガ彼此合セテ百七八十萬ニナリマセウ、其外此委員會ニ懸テ居リマスモノガ若シ通過致シマスレバ、中等及初等ノ教育ニ從事シテ居ル職員ノ増俸手當モ相當額ニ上セタイト云フ考ヲ有テ居ルノデアリマス、ソレカラ今一ツノ缺陷ヲ專門學校ノ收容力ヲ増スト云フ考ヲ起シテ譯デアリマス、是ハ別ニ各國ノ比例ヲ採リタカ何トカ云フコトハ一切アリマセヌ、何故ナラバ私共ノ見ル所ニ依ルト、各國專門以上ノ教育ノ機關ハ相當ニ整頓シテ居リマス、皆少ザクモ十ヤ二十ノ大學ヲ有シテ居リマス、又其次ノ物モ有シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ亞米利加ノ如キニナリマスレバ、御承知ノ通り何百ト云フモノヲ有シテ居ル、彼等ハ今日迄教育ノ各種ノ機關ヲ進メテ來テ居ル、ソレハ何カト云フ此百年間ニ日本ト違テ早ク教育事業ニ著手シ、又富ノ集蓄ヲ始メタモノデアラカラ、金ガ

出來テ相當ニ總テノ機關ガ或點迄進シテ居リマス、ソレニ拘ラズ、尙ホヨリ一層人材ヲ養成シ能率ヲ増スト云フコトデ、英吉利ハ初等教育ニ力ヲ入レテ義務年限ヲ増スト云フコトニ向テ居ル、今度佛蘭西ハ何ヲシマスガ、亞米利加モ亦ヤルカモ知レマセヌ、我國ニ於テモ今日ハドウモ物價騰貴其他ノ爲メニドウシテモ教員ノ待遇ニ注意シナケレバナラス、併ナガラ是モ今回デア終ル譯デアリマセヌ、先ツ其力ノ許ス程度ニ於テ、次第々々ニ之ヲ進メテ行ク、斯ウ云フ事ニ致シタイ、又無理ナ中カラ算段シマシテ高等教育機關ノ擴張ヲスル、此教育機關ノ不足ノ事ハ今朝大津サンハ御出ニナリマセヌカラ何デスガ、今朝申上ダタノデアリマス、一寸斯ウ云フ表ヲ作テ見タノデアリマス、我國ノハ此專門以上ノ學校ノ設立ガ缺乏シテ居ル、是ハ重複致シマスケレドモ、大津サンニ御目ニ掛ケマセヌカラ御承知ガナイカモ知レマセヌカラ、念ノ爲メニ申上ダマス、高等學校ハ明治十九年ニ三校有名ナ森文部大臣ノ時代ニ設立シタモノデ、二十年ニ四校ニ至リ七校出來マシテ、サウシテ三十二年マデハ一校モ増ヘナカッタノデアリマス、十何年間ト云フモノハ一校モ高等學校ヲ増ヘナカッタ、其間ニ中學校卒業生ハ幾ラ増シタカト云フト、二十倍ニナシテ居リマス、サウシテ三十二年ニ第六高等學校ヲ設立致シマシテ、又久シク休ミマシテ、四十一年ニ第八高等學校ヲ増ヘマシテ、サウシテ今日マデ來タノデアル、故ニ明治二十年カラ大正七年ノ間、殆ド三十年ノ間ニ高等學校ヲ二ツ増ヘタ、中學校ノ卒業生ハ幾ラニナシテ居ルカト云フト、二萬千人ト云フコトニ増進シテ來テ居ルノデアリマス、ソレカラ他ノ實業專門學校其他ノ各種ノ專門學校ハドウカト云フト、是ハ此高等學校ニ比較致シマスレバ、ボツ／＼出來テ居ル、併シ是モ繼續シテ出來テ居リマセヌ、一校ヲ増ヘ二校ヲ増ヘ、又數年繼續シテ一校ヲ増ヘ、又數年繼續シテ二校ヲ増ヘルト云フ譯デ、就中明治四十四年ニ漸ク桐生ニ染織學校ガ一校出來テ、明治四十四四年カ殆ド今年マデ八九年ノ間何モ出來テ居リマセヌ、中學ノ卒業生ハ二萬千人ト云フヤウナ合デ、餘程此點ハ缺乏ヲ致シテ居リハセヌカト云フ感ジガ致シマス、又實況ヲ見マシテモ大正六年度ニ五萬以上ノ受験者ガアルガ、一萬三四千ノ者ヲ收容シ、ソレハ資格ヲ認メル試験デナクシテ、競争試験、力ガアツテモ上ノ學校ヘハルコトガ出來ナイデ二回モ三回モ競争試験ヲシナケレバ上ノ教育ガ受ケラレヌ、ソレガ爲メニ青年ハ神經衰弱ヲ起シ、父兄モ一殊ニ母親サンナドハ最モ此試驗ニ心配スルト云フコトニナシテ居リマスカラ、是ハドウシテモ一日モ忽ニシテ置ク譯ニハ行クマイト云フ考ヲ致シタ譯デアリマス、學生ノ體力ノ統計ナドヲ見テモ、幸ニ身長ハ伸ビ目方モ殖エテ來テ居ル、胸廓モ殖エルト云フヤウナコト

ニナシテ居リマスガ、一面ニ於テハ神經衰弱ハ段々殖エル、近眼者ガ段々殖エル、此近眼者ノ殖エルト云フモノハ、私共モ非常ニ心配シテ居ルヤウナ次第デアリマス、左様ナ狀況デゴザイマスカラ、ドウカ國ノ經濟人物經濟ノ上カラ見マシテモ、又父兄ノ心配ノ上カラ見マシテモ、此競争試験ト云フモノヲ出來ルダケ制限ヲシ、サウシテ資格ダケノモノヲ取ル者ニ減ジテ行クト云フコトハ、極メテ適當ナ處置デアルト考ヘタ譯デアリマスカラ、ドウシテ此處ノ說明書ニモ餘リ書方ガ立派ダツカドウカ知レマセヌガ、サウ云フ意味デ書イタノデアリマスカラ、ドウシテ左様御了承ヲ願ヒタイノデアリマス

○大津淳一郎君 唯今色々ノ懇々タル御叮嚀ノ御説明ガアリマシタガ然ラバ今回ノ高等諸學校ノ増設ト云フコトハ、歐米諸國ノ比例ヲ參考ニシタノデナイ、唯此說明書ニハ漫然之ヲ書イタマケニ止マルモノト承知シテ宜シダラウト思ヒマス、ソレカラ歐米諸國ノ大學、高等ナル學校總テノ事ヲ御説明ニナシテ居リマスガ、ソレハ無論誰方モ承知デアリマス、我國モ亦今日マデ遲タトシテ高等ナル教育機關ノ設置ノ遲カッタコトモ御説明モアツタケレドモ、是モ其通りデアリマセウ、併ナガラ私ハ我國ノ教育ナルモノハ、獨リ高等ノ教育機關ノミナラズ、初等教育ノ機關、中學教育ノ機關モ亦完全シテ居ナカッタ、隨テ高等ノ教育ニ至テハ機關モ不足デアルト云フコトデアアルガ、實ハ今日マデハ獨リ高等教育機關ガ遺憾ヲ感ジテ居ル許リテナク、總テノ初等カ高等ニ至ルマデ是ハ同様ノ事デアリマス、今現ニ同様ノ有様ニナシテ居ルデアリマス、而シテ政府ガ今回初等中等ノ教育ニ對テスル設備ノ不完備ヲ直シ、擴張ヲスル改良ヲスルト云フ方法ヲ施サズシテ、サウシテ高等機關ノ増設ノ方ヲ突如ト云フ譯デアリマス、永年考ヘテ出來タモノデアリマセウケレドモ、之ヲ發案サレタ、然ラバ政府ノ方針ハ、高等教育ナルモノハ悉ク國家ノ爲スベキモノ、私立又ハ公立ノ高等教育ト云フモノヲ獎勵シ、大學カラ高等諸學校ニ至ルマデ、成ベク私立ノモノヲ補助シテ之ヲ發達セシムルト云フ御方針デハナクシテ、總テ高等教育ノ機關ナルモノハ、即チ政府ノ爲スベキモノト御方針ヲ執ラル、ノデアルカ、歐米ノ諸國ハ大變ニ大學ガアルト云フコトハ無論承知シテ居リマスケレドモ、亞米利加ノ大學ハ、今官學ト云フモノハ誠ニ少クシテ、私立公立ノ大學、又佛蘭西モ英吉利モ同ジク公立私立ノ大學ヲ歡迎シテ、其等ガ却テ盛デアツテ官立ト云フモノハ左マデ盛デアリナイノデアリマス、是ハ當然ナ私ハ遣方デアラウト思フ、如何トナレバ高等ナル教育ヲ受ケヤウト思フ者ハ、國家ノ教育ト云フ上カラ見タラ、洵ニ少數ナル人々ノ子弟デアリマス、何人モ高等ノ教育ニ入學スルコトノ出來ナイト云フコトハアリマセヌガ、併ナガラ事實ニ

於テハ、細民ノ子弟ガ決シテ高等ノ教育ヲ受クルト云フコトハ、實際ニ於テ是ハ出来ナイ、万人ニ一人ハ入學スル者モアリマセウガ、ソレハ洵ニ少ナイ者デアリマス、ソレ故ニ國家ノ力ヲ盡ス所ハ、一般國民、所謂國民教育ト云フモノニ對シテ、國家ハ國費ヲ投テジカテ盡シテ居ルト云フコトハ、歐米諸國ノ現況デアリマスケレドモ、日本ハソレニ反シテ却テ高等ナル教育ノ機關ハ、悉ク國家ガ官學ヲ以テ之ヲ充タスト云フ御方針ニ於テ居ルノデアラウカ、教育ニ對スル一ツノ政府ノ御方針シテ、如何ナル御方針デ此案ガ提出サレルコトニナツタノデアルカ、官學トシテ總テ中學以上高等ノ教育ハ、政府ガ殘ラズヤルベキモノデ、果シテ私立ヲ絶滅サスルト云フ譯デアリマスマイガ、政府當局ノ御考ハ如何デアルカ、私立ノ高等教育ノ機關ハ之ヲ設立スルコトニ困難ナル狀況ニ陥レタルト云フ甚ダ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、隨分困難ナル規定ヲ設ケタル、而シテ一面ニ於テ私立ノ學校ノ規定ハ、困難ナル規定ヲ設ケテ置イテ、一面ニハ國家ノ經費ヲ以テ高等教育機關ヲ全部官學ヲ以テヤルト云フ御方針デアルカ、且ツ現在ノ有様ニ依テ見マシタラバ頗ル不完全ナルハ初等教育デアリマス、文部大臣ノ述べラレタ如ク、英國ニ於テハ八箇年カ、義務教育ヲ尙ホ不足トシテ、此義務教育ヲモソト擴張シヤウト云フヤウナ狀態ニナツテ居ル、又戰後歐米諸國悉ク國民教育初等教育ニ力ヲ專ラニシテ居ルト云フ狀況デアリマス、日本ハ此世界ノ趨勢ニ反シテ、却テ初等教育中等教育ハ何等施設ガ無イト見ル外ナイ、此委員會ニ付託サレテ居ルハ、地方ノ經費ノ制限ヲ引上ゲテ、地方ノ經費ヲ以テヤラセルト云フ思召デアルト考ヘテ居リマスガ、何レ國民教育ハ自治體ノ教育デナイ、自治體ノ經費ニ國民教育ヲ委任シテシマフト云フコトハ、如何ナル國ニモ見エナイガ、併シ外ノ國ハ扨措イテ、我國ハサウ云フ方針ヲ取ルノデアルカ、中等初等ノ教育ハ自治體ニ拋棄シテシマフ、國庫ハ是ニ經費ヲ支出シテ、而シテ之ヲ發達セシメルト云フコトハ、爲サラヌデアアルマイケレドモ、ソレハ第二ニシテ、而シテ高等教育デケ——少數ノ國民ノ子弟ヲ養成スルト云フ方ハ、九段私立ヲ壓迫スルト云フデアリマスマイケレドモ、私立學校ノ出來ルト云フコトニ付テハ、頗ル困難ナ規定ヲ設ケテ、總テ官學ヲ以テヤルト云フ御方針デアルカ、先ヅ全體ノ教育ニ對スル御方針ニ付テ、一ツ文部大臣ノ御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○國務大臣(中橋德五郎君) 甚ダ残念ニ思ヒマスルガ、今御尋ノ御趣意ハ明瞭ニ分リマシタガ、實ハ今朝程來段々質問ガ出マシタノデ、大津サンハ行違ヒテ御出席ニナリマセヌデシタガ、御話ヲ申上ゲタノデアリマスカラ、簡單ニ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス、大體ノ趣意ハ餘リ大津サンノ御考——御質問ノ模様カラ伺フデ、御考ト私ノ考トハ餘計違ハナイ積リデアリマス、唯經費、財政處理ノ點ニ至ッテハ、今朝モ御話シタヤウニ色々攷究シテ居リマスガ、大體私立モ十分發達シナケレバナラヌト云フ考ヲ有シテ居リマス、唯此初等中等及高等學校ノ設備、從來ノ經歷、三四十ノ年間ヲ見マスルト、中學、小學ハ順當ニ毎年増加シテ居リマス、學校ノ數ヲ見マシテモ、教員ノ數ヲ見マシテモ、亦收容力ノ有様、卒業生ノ有様ヲ見テモ、順當ニ略、進シテ次第々々ニ發達シテ居リマス、増加シテ來テ居リマス、無論完全トハ申シマセヌ、色々改良スベキ點モアリマスガ、唯今調査シテ——大津サンモ臨時教育會ニ毎會御出席デアリマスカラ、私共ヨリ十分御承知デアリマスガ、其趣旨デヤレ居リマス、此度ノ擴張ハ實ハ臨時教育會デハ御討議ハナカッタガ、無論皆サンモ斯ウ云フ考ヲ持テ御在デニナツタコト、私共ハ推測シテ、此案ヲ立ツヤウナ次第デアリマス、即チ現ニ昨年ハ十校、一時ニ此三十年來僅十學校シカ出來ナカッタモノガ二十校、專門學校ヲ總體デ御提案ニナツタ、主トシテ教育會ニ意嚮ガアリマス、又本年ノ豫算ニモ四校、其外ニ餘程澤山ノ數、擴張ノ計畫ガ出來テ居ルヤウナ譯デアリマス、ソレト餘リ趣意ハ違ヒマセヌ、小學校モ中學校モ同ジ順序ニヤツテ見タ所ガ、一方ニハ前ニ申上ゲタヤウニ、高等學校ハ三十年間計リニ僅ニ二校シカ増設ガナイ、是デ以テ中學校カラ出ル一万五千モ二万モ者ヲ受ケルコトハ、ドウシテモイカナイノデアリマス、ソレハ遲レタ事情ハ色々アリマセウガ、併シ高等學校ハ要ラナカッタコト云フサウデナイ、欲シイト云フコトデアッタラウト思ヒマス、マア大抵御趣意トハ變ラナイト思ヒマス、又私立壓迫ノ御話モアリマシタガ、是ハサウ云フ結果ニナレバ洵ニ殘念デアリマスガ、サウ云フ意思ハ毛頭アリマセヌ、又近來私立モ段々出來マシテ、四五日來モ其相談ヲ受ケテ居リマス、神戸ノ川崎芳太郎君ガ私立ノ甲種ノ川崎商船學校ヲ設立シタイト云フノデ、其校長ニ付テ依頼ガアッテ、今心配シテ居ルヤウナ譯デアリマス、今日マデ百萬以上ノ資金ヲ投ゼラレテ、マダト、出スノサウデアリマスガ、既ニサウ云フモノガ出來ヤウト思ヒマス、尙ホ御必要ニ應ジテ委シク申上ゲテモ宜ウゴザイマスガ、略、今朝申上ゲテ重複スルヤウデアリマスカラ、簡單ニ申上ゲテ置キマス

○大津淳一郎君 文部大臣ノ御説明ハ洵ニ御懇切ナル御説明デアアルト信ジマスガ、私ノ間ヒマスノハ、高等教育ト云フモノハ總テ官學主義ヲ取ッテ、政府ガ總テ之ヲヤルト云フ御方針デアアルカ、而シテ中等以下ノ初等教育ニナツテハ、國家ハ是ニ無關係ト云フノデハナカッタ、併ナガラ第二トシテ、是ハ自治體ノ教育ニ一任スルト云フコトモアリマスマイイガ、自治體ノ教育ニ委セテ置クト云フ御趣意デアアルカ、而シテ高等教育機關ヲ官學、總テ政府ノ教育ニシテシマフト云フコト、殆ド獨逸流——獨逸必ズシモサウデアリマスマイケレドモ、殆ド獨逸流ノヤリ方デ、私立ノ教育即チ高等教育及ビ各高等專門學校ノ如キモ、大學ノ如キモ私立ト云フモノヲ歡迎シテ、之ヲ發達セシメテ行クト云フ——高等教育ハ成ベク私立ヲ歡迎シ、而シテ初等教育ハ勿論ノ事、國家ガ劃一ニ成ベクヤツテ行キタイ、中等教育モ成ベク國家ガヤツテ行キタイ、高等教育ハ成ベク私立ヲ歡迎シテ、國家ハ無論大學ヲ造ラナイデモナイガ、唯模範的ニ之ヲ造ッテ私立ヲ歡迎スルト云フ方針デヤル、又是ハ洵ニ國家トシテハ適當ナル造方デ、多數國民ヲ養成スルト云フコトニ重キヲ惜ク、所謂民本主義デナケレバ決シテ教育ハ成立タナイノデアリマス、斯ウ私共ハ考ヘテ居リマスガ、政府ノ造方ハ是トハ九段反對、唯高等教育ノ方ヲ官立、總テ國家ノ官立學校ニシテシマッテ、私立大學ノ如キハ百萬圓ノ金ヲ提供シ、或ハ高等實業學校等ニ於テハ、五十萬圓ノ金ヲ提供シナケレバナラヌト云フガ如キ規定ヲ設ケテ、而シテ國家ガ是等ノ私立大學私立高等教育機關ニ向ッテハ、何等ノ便宜モ與ヘズ、吾々ノ考デアハ是等ニ多少ノ補助方法ヲ定メテ、而シテ之ヲ發達セシメルノガ、少數國民ノ教育機關トシテ國家ガ爲スベキコトデアラウカト考ヘマスガ、其造方ガ政府ノ造方ヲ見マス、悉ク高等學校ノ方ニ力ヲ注ガレテ居ル狀況ニアルト私ハ信ジテ居リマス、併ナガラ一方ニバカリ偏シテ、多數國民ノ教育ニ對シテハ、別ニ議案ハ出テ居リマスガ、一ツハ自治體ニ經費ヲ負擔セシメ、高等ノ教育ニハ國家ガ國費ヲ投ジテヤルト云フ大體ノ狀況デアリマス、ソレデ是ハ國家教育、國民教育ノ趣意ニ適ッテ居ルノデアリマセウガ、猶更是ハ世界ノ大勢カラ言ヘバ、民本主義ニ逆行スル教育ノ施設ノ造方デハナイカと思ハル、其點ニ付テ中等教育初等教育ハ成ベク其負擔ヲ避ケテ、自治體ニ一任スルト云フ方針デアアルカ、高等教育デモ成ベク私共大學等ノ出來ルト云フコトヲ押ヘテ、成ベク總テ政府ガ立テル官學ヲ以テ教育ヲスルト云フノ針デアアルカト云フコトヲ明カニ伺ヒタイト云フノガ質問ノ趣意デアッタノデアリマスガ、誠ニ御懇切ナル文部大臣ノ御説明デアリマシタガ、其點ガハッキリ致シマセヌカラ、重ネテ不辯ナガラ斯ク申上ゲテ説明ヲ請ヒタイノデアリマス

○國務大臣(中橋德五郎君) 能ク分リマシタ——御趣意ハ能ク分リマシタ、何ニカ私立ノ學校ヲ壓迫スルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、大體ニ於テ高等學校ハ國費デアリ、初等、中等ハ地方費デアルト云フコトハドウカト云フコトデアリマスガ、其點ニ付キマシテハ的確ナル考ハ唯今持ッテ居

リマセス、御承知ノ通り日本ニ於テハ中學ハ主トシテ縣ノ經費ヲ以テヤリ、小學ハ町村費デヤルト云フヤウナコトガ、是ガ本體ニナリテ居リマスカラ、唯今此傾向ヲ改メルト云フ考ハ持ッテ居リマセス、中學校ニ付テ申シマシテモ、今日三百三十五モアリマス、其中幾ツカ私立ガアリマセウ、七八十ハアリマシタラウ、七八十ノ私立ガアリマセウ、是等ハ結構ナル現象ト思ッテ居リマス、私立ノ殖エテ行クト云フコトハ結構デアリマス、小學校ハ餘計ニハアリマセウ、兎ニ角ドノ教育デモ、義務教育デモ、高等ノ教育デモ、私立ノ餘計ニ出來ルコトハ國家ノ慶事ト思フノデアリマス、唯、單リ高等專門學校以上ノモノニナリマス、我國力ニ合セテ見テ、比較的ニ金ガ掛リマス、幕府ノ時分ニモ各藩ニ於テ相當ニ各地デヤッテ居リマシタガ、私立ハ殆ド少ナカッタノデアリマス、其因襲デアリマス、大體ガ貧國デアッタ爲メデアリマセウガ、上ノ方ノ教育ハ主トシテ官立デ政府ガ手ヲ著ケテ之ヲ拵ヘタノデアリマス、是ガ今日ニ至ルマデノ五十年間ノ歴史デアリマス、サウ云フ事實デアリマス、サウ云フ事實ガ今日マデ現ハレテ居ルデアリマス、今後ハ度々申シマス通り、ドウカ歐米各國ノ如ク富力ガ増進シ、富豪ニ於テ是ガ設備ノ任ニ當ルト云フヤウナ有力ナル人ノ澤山ニ出ルコトヲ希望スルノデアリマス、恐ラク日清役ノ後ニハ富豪ト云フヤウナ人デ、サウ云フ私立學校ヲ拵ヘルト云フヤウナコトハ無カッタノデアリマス、日露戰役ノ後ニハ私立學校ヲ拵ヘルトカ、官立ノ學校ニ寄附スルトカ云フヤウナコトモ見エテ來マシテ、又今回ノ戰爭ノ後ハ是等ニ付テモ殖エテ來ツ、アルヤウデアリマスカラ、今十年ナリ、二十年ナリ經ッたらバ、幾ラモ私立デモ立派ナモノガ出來ルコトニナリハセヌカト思ッテ居ルノデアリマス、併シソレノ出來又間ジトシテ見テ居ルト云フコトハ、今日ノ狀勢ニ於テ穩當デナイト考ヘマシテ——當局ノ處置トシテハ穩當デハナカラウカラ、民間ニサウ云フ施設ノ出來ルマデハ、政府ガヤルト云フコトニシテ行クガ宜カラウ、即チ一國ノ人材ヲ養成スル上ニ付テ、又此教育ノ向上ヲ計ルニ付テモ、必要ナ事ト信ズルノデアリマス、故ニ今日ノ實際デハ主トシテ五十年間ノ教育ニ對スル施設ハ、國庫デ之ヲ支辨シ、私立、公立ガアレハソレモ矢張歡迎ヲシテ居ッノデアリマス、今日モ吾々ハ歡迎ヲ致シマス、中等ノモノハ地方費、初等ノモノハ町村費ト、今日ノ大本ガサウナテ居リマス、先ヅ今日ハソレデ行ク積リデアリマス、私立ノ壓迫ト云フコトニ付テハ、是ハ教育會ニ係タ譯デハアリマセウガ、當局者トシテ主トシテ基案トシテ各方面ノ方ニ御相談ニナリマシテ、或ハ主トシテ教育會ノ有力者ニ御相談ニナッタト思ヒマスカ、ソレガ基案ニナッテ大體多數ノ有力ナル方ガ研究シタ結果デ、之ヲ大キク言ヘバ數年間研究ヲシタ結果デアリマス、

即チ其有力ナル教育家ノ大津サンハ一人デアリマス、ソレヲ御決議ニナッテ御希望ノ中ニハ、私立學校ニ對シテハ相當ノ設備ヲサレヤウニト云フヤウナコトガ、報告書ニ載ッテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレカラ起ッテ高等學校ハ五十萬圓、大學ハ百萬圓ノ供託金ガ無ケレバナラヌト云フヤウナコトニナッテ居リマセウガ、今日ノ大學ハ是程ノ金ハ要リマセス、出來ルダケ簡便ノ方法ヲ以テ實行シタト思ヒマス、私立ヲ壓迫スルト云フコト、之ヲドウカシテ換ヘル方法ハ無イカト云フ御注文デアリマス、是ハ極メテ御同感ノ語デアリマス、何分ニモ教育會ガ一年有餘モカ、ッテ御拵ヘニナッテモノカラ大本ハ採ッテモノラシ、ソレヲ今直チニ改廢スルノ勇氣ハゴザイマセス、先ヅ一二年様子ヲ見マサル積リデアリマス、此四月ニナリマス慶應ノ如キモ——早稻田モサウナルト思ヒマス、單科大學ヲ拵ヘルト云フコトデアリマスカラ、是モ出來ルダケ手數ヲ省キヤウニ取計ッテ見タイト云フ考ヲ有シテ居ルノデアリマスカラ、私共ノ希望スル所ト實行トハ副ハヌカモ知レマセウガ、副ハヌモノハ四圍ノ狀況ヲ見マシテ、折合ガ付クモノナラバ折合ヲ付ケテ行クトシテ、進ミタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○大津淳一郎君 委員長……

○委員長(三土忠造君) 大津君、一寸前ニハ大津君ノ方カラ休マヌカト云フ御提案ガゴザイマシタガ、今度ハ私ノ方カラ御諮シタイノデアリマス、大分皆退席シタヤウデアリマスカラ、明日ノ午前十時カラ續行スルコトニシテ、君ノ御質問モ其時ニ續ケルコトニシタイト思ヒマス……

○大津淳一郎君 ソレナラバ此處デ一寸文部省ニ材料ノ調査ヲ御注文申シテ閉會ヲ願ヒタイ、一寸デゴザイマス、二萬人或ハ六萬人ト云フ——高等教育機關ニ進向スル者ノ數ヲ何時デモ御話ニナルケレドモ、私ハ大正五年ノ調査ニ依ッテ見マスレバ、サウ云フ調ニハ出テ居ラヌノデアリマス、併シ最近ノ——ト言ッたらバ所ガ大正七年ノ調査ト云フ迄ニ行カナクテモ、セメテ大正六年ノ調査デ、中學ヲ卒ッテ高等ナル教育ヲ希望シテ居ル志望者ノ總數、凡ソ高等學校カラ大學ニ向フベキ數ト、各種ノ專門學校ニ向フベキ數ト、成ベク最近ノ計數ヲ御分リニナッテ居ルダケヲ御示シテ願ヒタイ、ソレカラ小學ノ卒業生ガ中學ニ向フ、是ハ女ハ高等女學校ニ向ヒマセウシ、或ハ各種ノ實業學校ニ向フノモアリマセウシ、即チ中學程度ノ男女ヲ合セテ收容力ト、ソレカラ入學志望者ノ總數、是モ大正五年ノハ分ッテ居リマスカレドモ、成ベク今少シ近イ所ノ數ヲ得タイト思ヒマス、之ヲ御調ベ下サルコトヲ一ツ御注文申上ゲテ置キマス、ソレカラ東京ナラバ第一中學校ノ如キ、若クハ府立中學校ノ如キ、若クハ高等師範ノ附屬中學校ノ如キ、又府縣ノ中ニモ有力ナル

ル中學校ノ其卒業生ニシテ、高等ナル教育ニ向フト云フ、一學校ノ例ヘバ第一中學校ヲ卒業シタ生徒ガ何人高等ノ教育ニ向フカ、其中高等實業等ノ學校ニ向フ者ガ何人、高等學校ニ外フ者ガ何人、是ハ四五ノ學校ノ第一ニ知リタイノハ東京府立ノ第一中學校、ソレカラ高等師範ノ附屬ノ中學校、及ビ二三ノ府縣ノ成ベク完全ナル中學校ノ卒業生ガ、毎年——毎年ト云ッテモナンデスカラ、最近ノ一年デ宜シウゴザイマス、ソレガ上ノ學校ヲ希望スル生徒ガ何人、而シテ其生徒ガ高等學校ニ入ラウト云フ志望者ト、ソレカラ實業學校等ニ向フ志望者ト區別シテ、五六ノ學校、東京ナラバ先ヅ府立ノ第一中學校ト、高等師範ノ附屬中學校、アトハ三枝程例ヘバ茨城縣ナラバ水戸ノ中學校トカ、縣第一ノ完全シタ中學校ノ生徒ガ、上ノ學校ニ向フ數ヲ、一ツ最近ノモノヲ御調ヲ願ヒタイ、先ヅソレダケ御注文申シテ置キマス

午後三時五十五分散會

○委員長(三土忠造君) ソレデハ明日ハ午前十時ニ成ベク時間ヲ勵行致シテ開會致シマス、今日ハ是デ散會致シマス

大正八年二月二十三日印刷

大正八年二月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局